

# 令和4年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	秘書事務事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0107100000 - 001				
		<b>分割/統合</b>							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>						
	<b>款</b>	総務費							
	<b>項</b>	総務管理費	<b>事業所管課</b>	政策局市長室					
	<b>目</b>	一般管理費	<b>連絡先</b>	(078)918-5000					
	<b>事業</b>	秘書事務事業	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	昭和 22 年度			
<b>施策分野</b>	6 行政経営分野		<b>根拠法令・要綱等</b>						
	6-3 市民ニーズに対応した行政経営								
<b>個別計画</b>			<b>実施方法</b>	直営	<input type="radio"/>	補助・助成		その他	
				委託	<input type="checkbox"/>	指定管理			

**目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）**  
 円滑な市政運営を目的に、市長、副市長が効率的に職務遂行できるよう庁内外との連携、調整に努める。

**成果指標**

指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
なし	秘書事務事業はその性質上、指標等を設定し評価することにはなじまない。			

**事業内容**

①市長及び副市長のスケジュール管理や各局室との連絡調整  
 ②来客等の接遇や行事出席に係る資料作成及び連絡調整  
 ③市長会、副市長会等諸会議に関する連絡調整  
 ④兵庫県こうのとり賞ほか、兵庫県関係の表彰などに関する取りまとめ  
 ⑤叙位、叙勲、褒章等に関する事務

SDGs(17の目標)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
																○

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和4年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
02決算	10,350	70,200	80,550	0	0	0	80,550	正規	9.50	77.14	0.00
03当初予算	18,040	70,740	88,780	0	0	0	88,780				
03決算	9,665	70,740	80,405	0	0	0	80,405	再任用	0.00	その他	0.00
04当初予算	17,954	81,270	99,224	0	0	0	99,224	任期付	1.60	合計	11.10

令和3年度 決算事業費 明細	区分(節)	内容	金額	令和4年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	各種会議出席及び陳情旅費	1,121		旅費	各種会議出席及び陳情旅費	4,760
交際費	市長及び副市長等にかかる交際費	352	交際費	市長及び副市長等にかかる交際費	2,500		
需用費	消耗品費等	2,524	需用費	消耗品費等	3,230		
使用料及び賃借料	コピー機等使用料等	853	使用料及び賃借料	コピー機等使用料等	1,535		
負担金補助及び交付金	全国市長会他負担金等	4,511	負担金補助及び交付金	全国市長会他負担金等	5,474		
その他	委託料、役務費等	304	その他	委託料、役務費等	455		
<b>合計</b>			9,665	<b>合計</b>			17,954

# 令和4年度 事務事業点検シート

整理番号	0107100000-001	事務事業名	秘書事務事業
------	----------------	-------	--------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			2年度	3年度	4年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	なし	秘書事務事業はその性質上、指標等を設定し評価することにはなじまない。					
<b>指標で表せない成果</b>							
社会情勢の変化に伴う市民ニーズの複雑・多様化や、中核市への移行に伴い、多くの事務を担ってきている中で、市長及び副市長の業務についても、繁忙を極めるとともに、その内容もますます高度化しており、トップマネジメントがより円滑にかつ効率的に行えるよう、庁内外の調整に努めた。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
市長及び副市長の業務が繁忙を極めるとともに、その内容についてもますます高度化しているなかで、市政の効率的かつ円滑な運営を図るために、トップマネジメントを補佐することは不可欠であり、現行の事業規模を維持すべきと考える。 一方で、他都市の手法や体制と常に比較、考慮しながら、職員同士の情報の共有化やチェック体制の強化、また個々の職員の能力向上を図ることにより、市長及び副市長がさらに効率的に職務を遂行できる体制づくりに努める。						

# 令和4年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	市政功労等表彰事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0107100000 - 002	
			分割/統合				
<b>関連予算科目</b>	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費		事業所管課	政策局市長室		
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5000			
	目	一般管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 47 年度	
	事業	市政功労等表彰事業	根拠法令・要綱等	明石市表彰規則、同取扱要綱			
<b>施策分野</b>	6 行政経営分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他
	6-3 市民ニーズに対応した行政経営			委託		指定管理	
<b>個別計画</b>							

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	市政各般にわたる功労者への表彰を行い、永年の功績に感謝と敬意を表する。 また、表彰を行うことにより、功労者及び市民のより一層の市政への貢献を期待する。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
	なし	功労表彰は、各個人の活動、貢献意欲の高まりを期待するという性質上、指標化することにはなじまない。			
<b>事業内容</b>	①明石市表彰式の開催 本市における公益の増進、市政の振興に尽力し、その功績の顕著な人・団体などを表彰する。 毎年、市制記念日である11月1日に市民会館で実施しており、令和3年度においても新型コロナウイルス感染症対策を行った上で実施した。  表彰実績 R2年度 112件 R3年度 92件  表彰見込 R4年度 約100件				
	②明石市きんもくせい賞、しおさい賞等に関する事務				

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
																○

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和4年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
02決算	1,790	21,600	23,390	0	0	0	23,390	正規	1.50	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
03当初予算	2,694	7,560	10,254	0	0	0	10,254				
03決算	1,959	7,560	9,519	0	0	0	9,519	再任用	0.00	その他	0.00
04当初予算	2,394	13,230	15,624	0	0	0	15,624	任期付	0.40	合計	1.90

<b>令和3年度決算事業費明細</b>	区分(節)	内容	金額	<b>令和4年度当初予算事業費明細</b>	区分(節)	内容	金額
	報償費	表彰式出演者等謝礼	150		報償費	表彰式出演者等謝礼	250
	需用費	消耗品費等	1,384		需用費	消耗品費等	1,550
	委託料	記念写真作成業務	226		役務費	舞台進行手数料	100
	使用料及び賃借料	市民会館使用料等	199		委託料	記念写真作成業務	253
					使用料及び賃借料	市民会館使用料等	241
<b>合計</b>			1,959	<b>合計</b>			2,394

# 令和4年度 事務事業点検シート

整理番号	0107100000-002	事務事業名	市政功労等表彰事業
------	----------------	-------	-----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			2年度	3年度	4年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	なし	功労表彰は、各個人の活動、貢献意欲の高まりを期待するという性質上、指標化することにはなじまない。					
<b>指標で表せない成果</b>							
被表彰者にとって、表彰を受けることは大変名誉なことであり、今後の活動の励みになるとともに、一般市民にとってもより一層、市政への参画や貢献への機運が高まるものとする。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<p>当該事業の目的は、永年にわたる市政へのご貢献に対する労をねぎらい、市政への関心を高め、今後のさらなる活躍を期待・促進するものであり、その必要性は高い。また、表彰の対象者を出来るだけ幅広くするなど、多方面における市政への協力を促し、参画と協働を進めることができるという意味でも、有効性は高い。</p> <p>市制記念式典を5年毎の節目の年の開催とし、平年は表彰式のみで開催としたほか、被表彰者への記念品を見直すなど経費削減に努めてきたところであり、今後もよりよい表彰制度となるよう検討を進める。</p>						

# 令和4年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	広報事務事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0107201000 - 001				
		<b>分割/統合</b>							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>						
	<b>款</b>	総務費							
	<b>項</b>	総務管理費	<b>事業所管課</b>	政策局シティセールス推進室広報課					
	<b>目</b>	文書広報費	<b>連絡先</b>	(078)918-5001					
	<b>事業</b>	広報事務事業	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	不明			
<b>施策分野</b>	6 行政経営分野		<b>根拠法令・要綱等</b>						
	6-3 市民ニーズに対応した行政経営								
<b>個別計画</b>			<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成		その他	
				委託		指定管理			

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明石の魅力を市内外に発信し、明石市のブランドイメージ醸成を図るとともに明石に関心を持ってもらう。</li> <li>・職員の広報スキルのレベルアップを図り、広報活動を円滑に行う。</li> </ul>				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
	記者発表資料件数	パブリシティ活動の目安として、市が提供した資料の件数を指標とする(県発表や外部団体等の発表は除く)。	令和4年度	件	500
新聞(日刊紙)掲載件数	明石市政に関する新聞記事の掲載件数を指標とする(例: 市政情報など積極的広報による掲載を計上)。	令和4年度	件	700	
<b>事業内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○パブリシティ活動を通じて市政情報やイベント情報などを市内外に発信する。</li> <li>○広報の実務に必要な知識やスキルを習得するため研修に参加する。</li> <li>○マスコミ対応や広報力養成に関する職員研修を行う。</li> </ul>				
	【令和2年度実績】				
	・コロナの影響により研修実施及び研修参加実績なし				
	【令和3年度実績】				
	・新任管理職研修「マスコミ対応のルール」を庁内動画配信にて実施 内容/パブリシティの在り方、記者対応、危機対応の基本など				
【令和4年度予定】					
・「情報発信・マスコミ対応」に関する庁内研修を実施予定 ・広報の実務に関する研修への積極的な参加					

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
																○

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和4年度 人員配置(人)					
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源						
02決算	1,541	13,899	15,440	0	0	0	15,440	正規	2.00	ｱﾊﾞｲﾄ	0.18		
03当初予算	2,105	19,521	21,626	0	0	0	21,626		再任用		0.00	その他	0.00
03決算	2,081	19,521	21,602	0	0	0	21,602		任期付		0.07	合計	2.25
04当初予算	1,838	16,659	18,497	0	0	0	18,497						

令和3年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和4年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	各種消耗品、備品等修繕など	1,373		需用費	各種消耗品、備品等修繕など	930
役務費	横断幕掲示	13	役務費	横断幕掲示	55		
使用料及び賃借料	コピー使用料、撮影用船借上料、新聞等著作物複製利用料	295	使用料及び賃借料	コピー使用料、撮影用船借上料、新聞等著作物複製利用料	400		
負担金補助及び交付金	日本広報協会年会費、各種研修出席負担金など	55	負担金補助及び交付金	日本広報協会年会費、各種研修出席負担金など	57		
その他	報償費、旅費、備品購入費など	345	その他	報償費、旅費、備品購入費など	396		
<b>合計</b>			<b>2,081</b>	<b>合計</b>			<b>1,838</b>

# 令和4年度 事務事業点検シート

整理番号	0107201000-001	事務事業名	広報事務事業
------	----------------	-------	--------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			2年度	3年度	4年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	記者発表資料件数	パブリシティ活動の目安として、市が提供した資料の件数を指標とする(県発表や外部団体等の発表は除く)。※R2以降、コロナ関連除いた件数			151	243	300
		令和4年度	件	500			
	新聞(日刊紙)掲載件数	明石市政に関する新聞記事の掲載件数を指標とする(例:市政情報など積極的広報による掲載を計上)。※R2以降、コロナ関連除いた件数			563	649	500
		令和4年度	件	700			
<b>指標で表せない成果</b>							
・メディアの種類、企画、配布エリア、発行時期などから、適切なもの選択し、戦略的に広域的な情報発信を行うことや、パブリシティ活動を通じて、信用度のある各メディアに取り上げられることで、市内外へのアピール効果をさらに高めることができる。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
・「信頼性」「権威性」「広域性」など、メディアの特性を活用したパブリシティ活動は非常に有効であると考えており、今後とも職員研修の充実や、より効果的な情報提供方法の研究を行うなど、限られた財源の中で、より効果が得られるよう努めていきたいと考えている。						

# 令和4年度 事務事業点検シート

事務事業名	広報紙発行事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0107201000 - 002			
			分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	総務費		事業所管課	政策局シティセールス推進室広報課				
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5001					
	目	文書広報費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 30 年度			
	事業	広報刊行物発行事業	根拠法令・要綱等						
施策分野	6 行政経営分野		実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>
	6-3 市民ニーズに対応した行政経営			委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		
個別計画									

事業の目的・目標	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	・本市行政の取り組みを、月2回の広報紙発行を通じて、市民にしっかりと伝えることにより、行政サービスの利用を促進するとともに、市民に市政への理解や関心を深めてもらい、市政への参加を促す。 ・情報不足になりがちな視覚障害者に市政情報を提供することにより、その生活を支援するとともに、社会参加の意識を醸成する。				
	<b>成果指標</b>				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
配布数 各年6月1日	広報あかしの新聞折込、宅配、アプリ配信件数の合計	令和4年度	部	113,500	
事業内容	市の中心的な広報媒体「広報あかし」の制作および視覚障害者向けの点字・音訳広報の発行 ○「広報あかし」 ・発行日／毎月1日、15日 ・規格／タブロイド判、フルカラー（1日号＝12ページ、15日号＝8ページ） ・発行部数／約95,400部 ・配布方法／①新聞折込 76,400部（R4.7.1現在） ②シルバー人材センターによる宅配 12,100部（R4.7.1現在） ③各市民センター窓口などで配布 6,900部（R4.7.1現在） ④アプリによる配信 9,055件（R4.7.1現在） ○「広報あかし」特別号 市政の重要なテーマを取り上げ、市民にわかりやすく、丁寧に伝えるために、増ページをして発行。 ・規格／タブロイド版、フルカラー4ページまたは8ページ ○広報あかし点字版 38部発行（R4.7.1現在）、毎月1日・15日に視覚障害者に郵送（B5判24ページ） 委託先／社会福祉法人兵庫県視覚障害者福祉協会 ○広報あかし音訳版 36部作成（R4.7.1現在） 毎月1日・15日に視覚障害者に郵送（録音データを収録したCD） 委託先／明朗会（社協登録 朗読ボランティア団体） 【令和3年度実績】 ○市内商業施設及び病院等での広報紙設置。アプリ登録促進用のカード作成及び窓口設置。 【令和4年度予定】 ○店舗等への広報紙設置の拡充、個別宅配や店舗設置の促進、アプリ登録の周知を図る。				

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
																○

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和4年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
02決算	52,388	35,094	87,482	856	0	0	86,626	正規	3.04	アルバイト	0.82
03当初予算	67,167	35,640	102,807	1,300	0	0	101,507				
03決算	51,531	35,640	87,171	811	0	0	86,360	再任用	0.00	その他	0.00
04当初予算	63,879	33,630	97,509	1,300	0	0	96,209				

令和3年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和4年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	イラスト制作謝礼	89		報償費	イラスト制作謝礼	150
	需用費	広報紙印刷ほか	17,839		需用費	広報紙印刷ほか	24,250
	役務費	広報紙宅配料	11,847		役務費	広報紙宅配料	13,957
	委託料	広報紙新聞折込委託、点字・音声版広報紙作成委託	21,756		委託料	広報紙新聞折込委託、点字・音声版広報紙作成委託	25,522
	合計		51,531		合計		63,879



# 令和4年度 事務事業点検シート

整理番号	0107201000-002	事務事業名	広報紙発行事業
------	----------------	-------	---------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			2年度	3年度	4年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	配布数 各年6月1日	広報あかしの新聞折込、宅配、アプリ配信件数の合計			110,400	105,153	110,000
		令和4年度	部	113,500			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性、有効性ともに高い当事業は概ね現状どおりの規模で継続していきたいと考えている。</li> <li>・活字離れが進み、新聞の購読者数が減少傾向にある中においても、紙媒体である広報あかしは、今後も主要な広報媒体であり続けると考えている。より多くの市民に読んでもらうため、「マチイロ」などのアプリを活用したインターネットによる配信を継続するとともに、他の媒体と組み合わせながら、より効果的な方法について引き続き検討を進めていく。</li> <li>・点字、音訳版広報については、視覚障害者にとって市政情報を得る貴重な情報源であるため、今後も継続していく。</li> </ul>						



# 令和4年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	CATV放映事業		<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0107201000 - 003				
			<b>分割/統合</b>							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>							
	<b>款</b>	総務費		<b>事業所管課</b>	政策局シティセールス推進室広報課					
	<b>項</b>	総務管理費			<b>連絡先</b>	(078)918-5001				
	<b>目</b>	文書広報費		<b>自治/法定</b>		自治事務	<b>開始年度</b>	平成 6 年度		
	<b>事業</b>	広報番組放送事業								
<b>施策分野</b>	6 行政経営分野		<b>根拠法令・要綱等</b>							
	6-3 市民ニーズに対応した行政経営									
<b>個別計画</b>			<b>実施方法</b>	直営	<input type="checkbox"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>	
				委託	<input checked="" type="checkbox"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	・市政情報をケーブルテレビを通じて市民にお知らせし、市政への関心を高めてもらう。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
	推定世帯視聴率	※算出式： ((視聴数/回答数) × 加入世帯数) / 全世帯数	令和4年度	%	25
<b>事業内容</b>	他の広報媒体(広報紙、市ホームページなど)と連携した重要施策・新規事業などの市政情報の発信や明石のたからものの紹介など、地域に密着した、より魅力ある番組づくりに努める。 <参考> 令和4年7月末現在 加入世帯14,595世帯 再送信のみ36,359世帯 合計50,954世帯(「海峡のまち明石」視聴可能世帯数)				
	【令和2年度実績】				
	・月2本制作(本放送:24回) 本放送=毎週月曜日20:00~20:15				
	・全番組に文字放送を実施(年間24回)				
	・聴覚障害者向けの手話番組制作(年間6本)				
【令和3年度見込】					
・月2本制作(本放送:24回) 本放送=毎週月曜日20:00~20:15					
・全番組に文字放送を実施(年間24回)					
・聴覚障害者向けの手話番組制作(年間6本)					
【令和4年度予定】					
・月2本制作(本放送:24回) 本放送=毎週月曜日20:00~20:15					
・全番組に文字放送を実施(年間24回)					
・聴覚障害者向けの手話番組制作(年間6本)					

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
																○

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和4年度 人員配置(人)							
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
02決算	18,744	3,402	22,146	1,359	0	0	20,787	<b>正規</b>	0.72	<b>アルバイト</b>	0.00				
03当初予算	18,744	6,237	24,981	2,068	0	0	22,913		<b>再任用</b>		0.00	<b>その他</b>	0.00		
03決算	18,744	6,237	24,981	1,311	0	0	23,670				<b>任期付</b>		0.00	<b>合計</b>	0.72
04当初予算	18,744	5,832	24,576	2,068	0	0	22,508								

<b>令和3年度決算事業費明細</b>	<b>区分(節)</b>	<b>内容</b>	<b>金額</b>	<b>令和4年度当初予算事業費明細</b>	<b>区分(節)</b>	<b>内容</b>	<b>金額</b>	
	委託料	番組制作・放映、ウェブ放送用編集、文字放送制作	18,744		委託料	番組制作・放映、ウェブ放送用編集、文字放送制作	18,744	
		<b>合計</b>			18,744		<b>合計</b>	

# 令和4年度 事務事業点検シート

整理番号	0107201000-003	事務事業名	CATV放映事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			2年度	3年度	4年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	推定世帯視聴率	※算出式：((視聴数/回答数)×加入世帯数) / 全世帯数			測定不能 ※明石ケーブルテレビが指標測定を実施していないため	測定不能 ※明石ケーブルテレビが指標測定を実施していないため	25
		令和4年度	%	25			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
						×
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>【事業の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度から番組の放送回数を減らし、その費用ですべての放送にテロップ(文字)情報を挿入し、誰もが見やすく、分かりやすい番組づくりを進めている。</li> <li>・当該事業については、費用対効果の観点から毎年見直しを進めてきた。一方、テロップ情報や手話放送などインクルーシブに配慮した事業については、一定の費用はかかるものの、誰もが見やすい番組づくりのために継続していきたい。</li> <li>・海峡のまち明石は、長年地域に根ざした情報番組として市民に親しまれているところであり、今後も唯一の映像媒体として、広報紙など他の媒体と補完し合いながら効果的な発信方法を検討していく。</li> </ul>						

# 令和4年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	ホームページ管理運営事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0107201000 - 004				
		<b>分割/統合</b>							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>	<b>事業所管課</b>	政策局シティセールス推進室広報課				
	<b>款</b>	総務費			<b>連絡先</b>	(078)918-5001			
	<b>項</b>	総務管理費				<b>自治/法定</b>	自治事務	開始年度	平成 10 年度
	<b>目</b>	文書広報費							
	<b>事業</b>	ホームページ管理運営事業							
<b>施策分野</b>	6 行政経営分野		<b>根拠法令・要綱等</b>						
	6-3 市民ニーズに対応した行政経営								
<b>個別計画</b>			<b>実施方法</b>	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>
				委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	・即時性があり情報量の多い、ホームページを活用し、市民等に市政情報等をお知らせすることで、市政への理解と関心を持ってもらう。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
アクセス数(全ページ)	各年度のアクセス数により、市政情報に対する市民の関心の度合いを測る指標とする	令和4年度	件	12,000,000	

<b>事業内容</b>	市ホームページの管理・運営を行う。 ○市ホームページ CMS(コンテンツ管理システム)を導入したことにより、より効率的なホームページの管理・運用とアクセシビリティ水準の維持ができるようになった。また、平成25年度から開設したツイッターとフェイスブックによる情報提供も随時行っていく。
	○市ホームページ アクセス数(全ページ) 令和元年度 10,763,777件(29,489件/日) 令和2年度 25,737,855件(70,514件/日) 令和3年度 23,925,792件(65,550件/日) ※R3.4.1~R4.3.31の実績
	○SNSの「フォロワー数」 令和2年7月1日現在 【ツイッター】6,302フォロワー 【フェイスブック】2,436フォロワー 令和3年7月1日現在 【ツイッター】7,647フォロワー 【フェイスブック】2,681フォロワー 令和4年7月1日現在 【ツイッター】8,874フォロワー 【フェイスブック】2,848フォロワー
	○あかし手話チャンネルの開設 聴覚障害者の人向けに令和2年開設。広報あかしの特集など市からのお知らせを手話動画にして「あかし手話チャンネル(YouTube)」で配信 R4年7月1日現在 80本配信済  ○YouTube動画「市長チャンネル」配信 令和3年1月スタート R4年7月1日現在 131本配信済

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
																○

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和4年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
02決算	2,564	5,805	8,369	0	0	0	8,369	正規	1.24	アルバイト	0.00
03当初予算	2,845	14,202	17,047	0	0	0	17,047	再任用	0.00	その他	0.00
03決算	1,408	14,202	15,610	0	0	0	15,610	任期付	0.05	合計	1.29
04当初予算	1,976	10,179	12,155	0	0	0	12,155				

令和3年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和4年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	役務費	データ通信用端末使用料	47		役務費	データ通信用端末使用料	48
	委託料	サーバー保守委託、ホームページ用動画作成委託	1,361	委託料	サーバー保守委託、ホームページ用動画作成委託	1,928	
	<b>合計</b>		1,408	<b>合計</b>		1,976	

# 令和4年度 事務事業点検シート

整理番号	0107201000-004	事務事業名	ホームページ管理運営事業
------	----------------	-------	--------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			2年度	3年度	4年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	アクセス数(全ページ)	各年度のアクセス数により、市政情報に対する市民の関心の度合いを測る指標とする			25,737,855	23,925,792	12,000,000
		令和4年度	件	12,000,000			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<p>・誰にとっても分かりやすく、欲しい情報を速やかに取得できるよう、市ホームページのアクセシビリティ・ユーザビリティの向上を図っている。総務省「みんなの公共サイト運用ガイドライン」の適合レベルAAIに準拠している。</p> <p>・新型コロナウイルスに関連する生活支援策や感染症防止対策など市民に必要な情報を、ホームページを通じて積極的に発信する。</p> <p>・動画配信に関して、令和3年度は、新型コロナワクチンの予約方法の解説動画を作成し、1万回以上の閲覧があった。また、手話チャンネルの運用も継続しており、動画による情報発信は、重要な広報媒体の一つになってきている。</p>						

# 令和4年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	シティセールス事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0107202000 - 001					
		<b>分割/統合</b>								
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>	<b>事業所管課</b>	政策局シティセールス推進室シティセールス課					
	<b>款</b>	総務費			<b>連絡先</b>	(078)918-5263				
	<b>項</b>	総務管理費				<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	平成 27 年度	
	<b>目</b>	文書広報費					<b>根拠法令・要綱等</b>			
	<b>事業</b>	シティセールス事業								
<b>施策分野</b>	6 行政経営分野		<b>実施方法</b>	直営		<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>
	6-3 市民ニーズに対応した行政経営			委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>			
<b>個別計画</b>										

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	子育て世帯を中心に明石の特色ある施策や気候、利便性といった魅力を積極的に発信することで、市の認知度の向上や交流人口の増加、引っ越し先として明石市が選ばれることを目指す。また、市民自らが進んで市の魅力を外に向けて発信してもらえるよう、「明石に住んでいることを誇りに思う」「住み続けたい」といったシビックプライドの醸成を目指す。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
子育て世代の転入超過数	子育て世代(25歳～39歳)に向けたシティセールスの取り組みにより本市が「選ばれるまち」となることによる転入超過数	令和4年	人	800	

<b>事業内容</b>	<b>【令和2年度の主な事務内容】</b>
	・新型コロナウイルス感染症の影響により内容の変更はあったが、時の記念日100周年、天文科学館60周年という節目のタイミングに合わせて、「時のまち明石」を市内外に広く発信するため、「おうちで天文科学館」、「時の記念日100周年」などの動画配信の実施や天文科学館分室の設置などを行った。また、山陽電車と天文科学館のコラボ電車「シゴセンゴ」を運行し、沿線地域への魅力発信を行った。(11月14日～12月18日) 総動画再生回数 約120,000回 ・豊かな海づくり大会に向けた啓発・機運醸成のため、明石たこ大使のさかなクンを活用した動画作成・配信を行った。(再生回数約5,000回) ・SNSを活用した情報発信の拡大を図るため、ふるさと納税寄附者等を対象としたキャンペーンを実施した。(LINE登録者数約5,100人)
	<b>【令和3年度の主な事務内容】</b>
	・令和4年秋の「第41回全国豊かな海づくり大会兵庫大会」に向けて、啓発や機運の醸成を図るため、10月17日のプレ大会に合わせて「明石たこ大使さかなクンのトークショー」を実施した他、動画作成を行った。(トークショー参加者数370人)また、パピオスあかし5階に「あかし豊かな海づくりコーナー」を開設した。 ・東京2020オリンピック聖火リレーを実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により公道でのリレーが中止され、5月24日に丹波篠山市で点火式のみが実施された。パラリンピック聖火フェスティバルについても、規模を縮小した形で8月16日に実施された。 ・「時のまち明石」を幅広く発信し、明石への愛着・関心を高めてもらうため、天文科学館と連携して、東経135度の日本標準時子午線制定135周年を記念したオンラインイベントを行った他、装飾電車の運行をはじめ、デジタルスタンプラリーなど山陽電車との様々なコラボ企画を実施した。その他、天体ショーのライブ中継などの動画配信等を実施した。(オンラインイベント動画再生回数約1,700回、デジタルスタンプラリー参加者数1,142人)
	<b>【令和4年度の主な事務内容】</b>
	・令和4年11月13日の「第41回全国豊かな海づくり大会兵庫大会」に向けて、明石の豊かな海づくりの取り組みを発信するため、半夏生のタイミングで明石たこ大使であるさかなクンを活用し、トークショー(参加者388人)などを実施した他、山陽電車・兵庫県とのコラボ企画で、ラッピング電車の運行、フォトスポットの設置、スタンプラリーの開催を行っている。 ・「時のまち明石」の継続した発信のため、山陽電車とのコラボ企画を実施した他、時機を捉えてオンラインイベント・動画配信を行う。 ・明石の子育て支援施策や住環境について、パンフレット配布を行う他、ホームページやSNSを活用した情報発信を行う。

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
			○										○			○

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和4年度 人員配置(人)								
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源									
02決算	15,500	20,290	35,790	3,741	3,100	0	28,949	<b>令和4年度 人員配置(人)</b>	<b>正規</b>	<b>1.40</b>	<b>アルバイト</b>	<b>0.00</b>				
03当初予算	18,343	19,806	38,149	0	0	0	38,149									
03決算	10,887	19,806	30,693	3,663	0	1,132	25,898						<b>再任用</b>	<b>0.00</b>	<b>その他</b>	<b>0.50</b>
04当初予算	10,293	12,290	22,583	0	0	0	22,583									

令和3年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和4年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	東京2020オリンピック等イベント関連旅費等	249		報償費	ふるさと大使報償費	200
需用費	横断幕、パンフレット等印刷費、SNSキャンペーン費用等	1,026	旅費	首都圏在住者向けプロモーション等旅費	500		
役務費	傷害保険加入、郵送料等	553	需用費	横断幕、印刷物、事務用品等	1,220		
委託料	明石たこ大使出演費、動画配信経費、海づくりコーナー設置費等	8,578	役務費	傷害保険加入、広告料、郵送料等	1,085		
使用料及び賃借料	イベント会場使用料、デジタルスタンプラリー使用料等	481	委託料	豊かな海づくり大会に向けたPR経費、時のまち明石PR経費等	6,750		
			その他	イベント会場使用料、課室備品購入費等	538		
	<b>合計</b>		<b>10,887</b>		<b>合計</b>	<b>10,293</b>	

# 令和4年度 事務事業点検シート

整理番号	0107202000-001	事務事業名	シティセールス事業
------	----------------	-------	-----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			2年度	3年度	4年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
子育て世代の転入超過数		子育て世代(25歳～39歳)に向けたシティセールスの取り組みにより本市が「選ばれるまち」となることによる転入超過数			779	792	800
		令和4年	人	800			
<b>指標で表せない成果</b>							
・明石市の海、時、歴史などに関連した地域資源である「たからもの」や、市が行う特色ある施策などについて、時期やターゲットなどを考慮しながら効果的な発信を広く行うことで、「海のまち」や「時のまち」「こどもを産み、育てやすいまち」などといった明石市のイメージの醸成を行った。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
不動産業界と連携して住環境の良さや子育て施策の市内外への発信に取り組んでいるが、ポストコロナの地方移住の動向を踏まえながら、効果的な手法を検討し、情報発信を継続していく。 シビックプライド醸成のための各種イベントについては、新型コロナウイルス感染症の状況に注意し、対策を講じた上で実施していく。 （地方創生推進交付金活用事業） 豊かな海づくり大会に向けた啓発・機運醸成のため、明石たこ大使であるさかなクンを活用し、動画作成等を行った。また、小学生の作成した豊かな海づくりに関する紙芝居を動画化し、豊かな海づくりコーナーなどで公開した。 （ひょうご地域創生交付金活用事業） SNSを活用したキャンペーンやリニューアルしたホームページにより明石の魅力をPRした。また、動画配信・山陽電車とのコラボ企画により、「時のまち明石」を市内外に発信した。聖火リレーについては新型コロナウイルス感染症の影響により公道での実施が中止となったため、明石市では実施されなかった。 （企業版ふるさと納税寄附金活用事業） 「豊かで安全な海づくり事業」において、豊かな海づくりコーナーの設置、明石たこ大使であるさかなクンを活用したトークショーを行った。						



# 令和4年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	ふるさと納税促進事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0107202000 - 002			
		<b>分割/統合</b>						
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>					
	<b>款</b>	総務費						
	<b>項</b>	総務管理費	<b>事業所管課</b>	政策局シティセールス推進室シティセールス課				
	<b>目</b>	文書広報費	<b>連絡先</b>	(078)918-5263				
	<b>事業</b>	ふるさと納税促進事業	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	平成 20 年度		
<b>施策分野</b>	6 行政経営分野		<b>根拠法令・要綱等</b>	地方税法、地域再生法				
	6-5 健全財政の推進			<b>実施方法</b>	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>
<b>個別計画</b>			委託		<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>	

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>															
	明石を代表する産品や市内企業の優良製品など返礼品のラインナップを強化し、より多くの方に明石の魅力を実感していただき、明石の応援団を増やすとともに、本市への寄附を促進することにより、ふるさと納税による歳入を確保する。 また、企業版ふるさと納税の寄附促進・基金運用を行う。															
	<b>成果指標</b>															
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>											
	寄附金額	ふるさと納税(寄附金)制度の利用を目的とした明石市に対する個人寄附額	令和4年度	千円	500,000											
<b>事業内容</b>	【令和2年度】 ・ふるさと納税の受付サイトのさらなる拡充を行った。また、寄附額の多い返礼品のバリエーションを増やすなど、一度寄附をした人がまた寄附をしたくなるように取り組んだ。 ・取り組みの結果、引き続きふるさと納税収支の黒字額を確保した。 ・企業版ふるさと納税の制度導入を行った。															
	【令和3年度】 ・ふるさと納税の受付サイトのさらなる拡充を行うと共に、魅力ある新たな返礼品の発掘に努めた。 ・返礼品をはじめ明石市の魅力を効果的に情報発信するためのチラシ作成や、前年寄附者へのアプローチを行った。 ・取り組みの結果、引き続きふるさと納税収支の黒字額を確保した。 ・企業版ふるさと納税の制度運用を行った。															
	【令和4年度】 ・ふるさと納税受付サイトのさらなる拡充を行うと共に、返礼品の一層の充実に努める。 ・リピーター獲得のため前年寄附者へのアプローチを継続する他、ポータルサイトと連携した広告展開を検討する。															
	(参考) ◎ふるさと納税(寄附金)実績 H25 4,023千円 H26 2,290千円 H27 6,075千円 H28 6,473千円 H29 5,384千円 H30 102,825千円 R1 281,108千円 R2 412,059千円 R3 494,413千円 ◎企業版ふるさと納税(寄附金)実績 R2 10,000千円 R3 10,000千円															
	SDGs(17の目標)															
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
○		○	○				○			○			○			○

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和4年度 人員配置(人)							
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
02決算	203,072	18,770	221,842	0	0	421,959	-200,117	正規	0.80	ｱﾙﾊﾞｲﾄ	0.00				
03当初予算	182,841	9,320	192,161	0	0	350,000	-157,839								
03決算	235,935	9,320	245,255	0	0	504,413	-259,158					再任用	0.00	その他	0.60
04当初予算	259,458	7,430	266,888	0	0	500,000	-233,112					任期付	0.00	合計	1.40

<b>令和3年度決算事業費明細</b>	区分(節)	内容	金額	<b>令和4年度当初予算事業費明細</b>	区分(節)	内容	金額
	需用費	チラシ・パンフレット等印刷費、ふるさと納税キャンペーン費用	395		旅費	イベント出展等	180
	役務費	指定代理納付者等への手数料	13,661		需用費	印刷物作成等	250
	委託料	返礼品受発注業務委託、受付業務委託等	211,879		役務費	指定納付受託者等への手数料、広告料	16,585
	積立金	明石市企業版ふるさと納税地方創生基金積立金	10,000		委託料	返礼品受発注業務委託、受付業務委託等	242,413
					使用料及び賃借料	事業者説明会会場使用料	30
		<b>合計</b>	235,935			<b>合計</b>	259,458



# 令和4年度 事務事業点検シート

整理番号	0107202000-002	事務事業名	ふるさと納税促進事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			2年度	3年度	4年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	寄附金額	ふるさと納税(寄附金)制度の利用を目的とした明石市に対する個人寄附額			412,059	494,413	500,000
		令和4年度	千円	500,000			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>平成30年7月から地元企業や関係団体などと連携して、明石の特産品や地元企業の製品といった「明石のたからもの」を全国に発信し明石の応援団を増やすとともに、本市が進める特色あるまちづくりのための財源を確保するため返礼品をリニューアルしている。受付サイトの追加や返礼品の発掘に努め、引き続き黒字確保の維持を目指し事業を進めていく。</p>						

# 令和4年度 事務事業点検シート

事務事業名		観光振興基盤整備事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0107202000 - 003			
			分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	商工費	事業所管課	政策局シティセールス推進室シティセールス課					
	項	商工費	連絡先	(078)918-5263					
	目	観光費	自治/法定	自治事務	開始年度	不明			
	事業	観光振興基盤整備事業	根拠法令・要綱等	観光立国推進基本法					
施策分野		3産業・観光分野	実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
個別計画		3-4 観光の振興		委託	○	指定管理			

事業の目的・目標	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	市民及び市外からの観光客がより市内を快適に観光できるように、観光案内看板等観光関連施設の維持管理及び観光環境を整備し、観光客の誘致を進めるとともに、訪れた観光客の利便性向上を図り、にぎわいを創出する。				
	<b>成果指標</b>				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	観光入込客数	兵庫県観光客動態調査に基づく観光客数を指標とする。	令和4年度	人	4,500,000
事業内容	①市内各所に設置されている観光案内看板等の維持管理 観光案内看板等、市内に70箇所設置 その他管理施設・・・中部幾次郎銅像、とき打ち太鼓櫓（ロボット含む）				
	〈修繕等箇所〉 令和2年度＝6箇所（とき打ち太鼓ロボット＝1箇所、観光案内看板等＝5箇所） 令和3年度＝3箇所（とき打ち太鼓ロボット＝1箇所、観光案内看板等＝2箇所） 令和4年度＝6箇所（とき打ち太鼓ロボット＝1箇所、観光案内看板等＝5箇所）（予定）				
	②明石公園内「とき打ち太鼓ロボット」の維持管理【カワサキロボットサービス（株）に委託】 定期点検9月・3月、故障時の対応など。				
③JRデスティネーションキャンペーン市町分担金（新規） 兵庫県が2023年にJRと共同で実施するデスティネーションキャンペーンについて、2022年にプレキャンペーンを予定しており、分担金の負担を行うもの。なお、分担金相当額については、公益財団法人兵庫県市町村振興協会より助成金が交付される。					

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
							○			○						○

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和4年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
02決算	2,666	7,430	10,096	0	0	0	10,096	正規	0.50	アルバイト	0.00
03当初予算	2,523	4,860	7,383	0	0	0	7,383				
03決算	2,207	4,860	7,067	0	0	0	7,067	再任用	0.00	その他	0.00
04当初予算	7,413	4,050	11,463	0	0	4,724	6,739	任期付	0.00	合計	0.50

令和3年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和4年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	とき打ち太鼓ロボット、案内看板等修繕	1,379		需用費	修繕料、印刷製本費	630
	委託料	とき打ち太鼓ロボットの維持管理	490		委託料	とき打ち太鼓ロボットの維持管理等	1,660
	負担金補助及び交付金	広域観光団体分担金、とき打ち太鼓櫓電気代	338		負担金補助及び交付金	デスティネーションキャンペーン市町分担金、広域観光団体分担金等	5,123
合計			2,207	合計			7,413

# 令和4年度 事務事業点検シート

整理番号	0107202000-003	事務事業名	観光振興基盤整備事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			2年度	3年度	4年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	観光入込客数	兵庫県観光客動態調査に基づく観光客数を指標とする。			3,625,857	3,813,956	4,500,000
		令和4年度	人	4,500,000			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>①観光案内看板等に関して、設置から30年以上経過しているものが多く、緊急に修繕を行うことが増加しているため、他課とも連携し、維持管理の徹底を図る。観光案内板のリニューアルについては、令和元年度で一旦完了した。</p> <p>②とき打ち太鼓ロボットについては、現在、耐用年数年を大幅に経過し、頻繁に故障しているため、明石公園と連携して維持管理を徹底するとともに、今後のあり方を検討する。</p>						

# 令和4年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	観光協会支援事業		<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0107202000 - 004						
			<b>分割/統合</b>									
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>		<b>事業所管課</b>	政策局シティセールス推進室シティセールス課						
	<b>款</b>	商工費		<b>連絡先</b>		(078)918-5263						
	<b>項</b>	商工費				<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	不明			
	<b>目</b>	観光費					<b>根拠法令・要綱等</b>			観光立国推進基本法		
	<b>事業</b>	観光協会支援事業										
<b>施策分野</b>	3 産業・観光分野		<b>実施方法</b>		直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="radio"/>	その他			
	3-4 観光の振興			委託	<input type="radio"/>	指定管理						
<b>個別計画</b>												

**目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）**  
 市の観光施策実施主体である(一社)明石観光協会への運営補助金の交付等を通じて明石の観光情報をよりわかりやすく発信し、観光客の誘致を推進する。

<b>成果指標</b>				
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
観光入込客数	兵庫県観光客動態調査に基づく観光客数を指標とする。	令和4年度	人	4,500,000

明石観光協会運営補助金を交付するなど、(一社)明石観光協会の運営、事業に対する支援を行う。(市で取り組んでいた観光関連事業を平成28年度より観光協会に事業移管)

**【主な内容】**

- 明石の観光地を紹介するパンフレット(明石巡り、明石巡り～ふなど)の制作、増刷及び配布
- あかし案内所の運営、維持管理
- 他自治体や民間団体との連携により、市外・県外における明石の観光PRの実施
- 旅行会社等を対象とした明石観光招聘事業(招待者の選定及びツアー内容の企画立案、観光事業者との調整)の実施
- キャラクターを活用した市外・県外における明石の観光PRの実施
- ドラマ・映画などの誘致を通して、明石の知名度向上及び観光客誘致を図る、フィルムコミッション・ロケ支援事業の実施
- 明石焼関連事業(プロモーション活動、明石焼店舗出店状況の調査)
- 観光ボランティア事業
- 外国人旅行者の受け入れ体制づくり(多言語パンフレットの作成、インバウンド対応)
- 各種メディアを活用したプロモーション事業の実施
- ユニバーサルツーリズムの推進

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、「4 旅行会社等を対象とした明石観光招聘事業」、「7 明石焼関連事業」を中止した一方で、オンラインや郵送で願い事を募集し、パパたこが社に代理奉納する「明石deリモート参拝」の実施や、飲食店のテイクアウト・デリバリー・通信販売情報をまとめた「#どこでもアカシ」、自宅でも楽しめる情報を集めた「おうちDEアカシ」のホームページ作成を行い、積極的な事業展開を図った。  
 令和3年度においては、ECサイトの整備・拡充により明石の製品の発信を強化する他、ノウハウを持つNPO法人とも連携してユニバーサルツーリズムの推進に取り組んだ。  
 令和4年度においては、兵庫県と連携しJRデスティネーションキャンペーンに向けた観光コンテンツの提案・PRを行う。

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		○					○									○

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和4年度 人員配置(人)							
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
02決算	87,475	6,760	94,235	2,000	0	0	92,235	<b>正規</b>	0.50	<b>ｱﾊﾞｲﾄ</b>	0.00				
03当初予算	93,426	4,050	97,476	0	0	0	97,476								
03決算	87,695	4,050	91,745	0	0	0	91,745					<b>再任用</b>	0.00	<b>その他</b>	0.00
04当初予算	86,705	4,050	90,755	0	0	0	90,755								

区分(節)	内容	金額	令和4年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
委託料	魅力発信業務委託	869	令和4年度 当初予算 事業費 明細	委託料	魅力発信業務委託	4,000
負担金補助及び交付金	明石観光協会運営補助金	86,826		負担金補助及び交付金	明石観光協会運営補助金	82,705
<b>合計</b>		87,695		<b>合計</b>		86,705

# 令和4年度 事務事業点検シート

整理番号	0107202000-004	事務事業名	観光協会支援事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			2年度	3年度	4年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	観光入込客数	兵庫県観光客動態調査に基づく観光客数を指標とする。			3,625,857	3,813,956	4,500,000
		令和4年度	人	4,500,000			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
1 観光プロモーションの強化 ・JRデスティネーションキャンペーンに向けた観光コンテンツの整備・PRを図る。 2 ユニバーサルツーリズムの推進 ・市内観光施設のバリアフリー調査を行うほか、観光コースの設定・情報発信を行う。また、ユニバーサルなおもてなしについての研修を開催し、受け入れ体制の充実を図る。						

# 令和4年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	あかし市民広場管理運営事業		<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0107202000 - 005				
			<b>分割/統合</b>							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>							
	<b>款</b>	商工費		<b>事業所管課</b>	政策局シティセールス推進室シティセールス課					
	<b>項</b>	商工費			<b>連絡先</b>	(078)918-9750				
	<b>目</b>	観光費		<b>自治/法定</b>		自治事務	<b>開始年度</b>	平成 28 年度		
	<b>事業</b>	あかし市民広場管理運営事業								
<b>施策分野</b>	3 産業・観光分野		<b>根拠法令・要綱等</b>	あかし市民広場条例						
	3-4 観光の振興			<b>実施方法</b>	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>
<b>個別計画</b>										

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	明石駅前に新たな賑わいと憩いの空間を創出するとともに、来街者を呼び込み周辺地域へと送り出す回遊拠点（情報発信拠点）になるよう、あかし市民広場の管理運営を行う。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
	広場利用率（年間）	年間の開館日に対する使用日（1日のうち広場を貸館又は自主イベント事業のどちらかで使用がある日）の比率。	令和4年度	%	65
<b>事業内容</b>	市民の憩いと交流の場を提供し、来街を促進する事業を実施することにより、賑わいの創出及び中心市街地への回遊性向上を図り、よりよい施設管理と事業を行うため、令和2年度より市の直営であかし市民広場の管理運営を行っている。				
	【業務内容】（平成30年度～令和元年度：指定管理者制度、令和2年度～：直営） 貸館事業、自主イベント事業、情報発信事業、デジタルサインエージ一括運営管理事業、施設・附属設備等維持管理事業、その他管理事業				
	【各年度利用率】（平成30年度～令和元年度：仕様書における要求水準60%以上） 平成30年度：78%（平成30年9月より営利利用・非営利利用別の料金を適用） 令和元年度：77% 令和2年度：47%（新型コロナウイルス感染症によりイベント使用の停止や中止が発生） 令和3年度：88%（新型コロナウイルスワクチン集団接種等で使用） 令和4年度（見込み）：65%（新型コロナウイルスワクチン集団接種等で使用）				

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
										○						○

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和4年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
02決算	47,377	34,400	81,777	0	0	2,446	79,331	正規	2.30	アルバイト	1.00
03当初予算	52,284	32,100	84,384	0	0	3,623	80,761		再任用	1.00	その他
03決算	41,053	32,100	73,153	0	0	359	72,794	任期付	2.00	合計	8.30
04当初予算	46,980	34,530	81,510	0	0	3,625	77,885				

令和3年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和4年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	修繕料、事務用品購入費、パンフレット等印刷費等	1,677		需用費	修繕料、事務用品購入費、パンフレット等印刷費等	2,620
委託料	警備案内業務、広場維持管理業務、自主イベント事業等	30,272	委託料	警備案内業務、広場維持管理業務、自主イベント事業等	33,610		
使用料及び賃借料	コピー、サインエージサービス等使用料	1,602	使用料及び賃借料	コピー、サインエージサービス等使用料	2,000		
備品購入費	貸出備品等購入費用	1,844	備品購入費	貸出備品等購入費用	2,500		
負担金補助及び交付金	光熱水費等負担金	5,327	負担金補助及び交付金	光熱水費等負担金	5,500		
その他	電話代、インターネット使用料、旅費等	331	その他	電話代、インターネット使用料、イベント講師等謝礼、旅費等	750		
<b>合計</b>			41,053	<b>合計</b>			46,980

# 令和4年度 事務事業点検シート

整理番号	0107202000-005	事務事業名	あかし市民広場管理運営事業
------	----------------	-------	---------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			2年度	3年度	4年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	広場利用率(年間)	年間の開館日に対する使用日(1日のうち広場を貸館又は自主イベント事業のどちらかで使用がある日)の比率。			47	88	65
		令和4年度	%	65			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>令和2年度から、市の直営で管理運営を行うようになったが、新型コロナウイルス感染症によるイベントでの使用の停止(4月11日～5月31日)や、イベントの中止等が発生し、また、令和3年度からは、新型コロナウイルスの集団接種会場として使用されている状況であるが、市民広場の設置目的である、賑わいと憩いの空間を創出するとともに、来街者を呼び込み周辺地域へと送り出す回遊拠点(情報発信拠点)となるようなイベント事業を行っていく。</p> <p>また、平成30年9月に営利用・非営利用別の料金を適用し、非営利用の促進を図っているが、文化活動や市民活動などのさらなる利用促進を図っていくことで、今後も非営利団体が利用しやすくなるよう取り組みを進めていく。</p>						



# 令和4年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	あかし案内所管理運営事業		<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0107202000 - 006		
			<b>分割/統合</b>					
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>					
	<b>款</b>	商工費						
	<b>項</b>	商工費	<b>事業所管課</b>	政策局シティセールス推進室シティセールス課				
	<b>目</b>	観光費	<b>連絡先</b>	(078)918-5263				
	<b>事業</b>	あかし案内所管理運営事業	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	令和 2 年度		
<b>施策分野</b>	3 産業・観光分野		<b>根拠法令・要綱等</b>	障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律				
	3-4 観光の振興			<b>実施方法</b>	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>
<b>個別計画</b>			委託		<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>	

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	明石駅前周辺で時間を過ごすすべての人が、居心地の良さや過ごしやすさを感じられるよう、多様なニーズに応じた情報の提供やサポート及び関係機関との調整を行うとともに、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインの公共トイレ等を管理・運営する。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
	あかし案内所の来客数	案内所を活用する来客数を指標とする。	令和4年度	人	30,000
<b>事業内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度にあかし案内所内に整備した、誰でも自由に利用できる公共トイレや、小さな子どもへの授乳やおむつ交換ができる子育てサポート室の管理・運営を行う。なお、みんなのトイレ及び子育てサポート室の管理・運営については、(一社)明石観光協会に委託する。</li> <li>・障害者や高齢者などの多様な利用者の問い合わせやニーズに対応できるよう、スタッフの接遇の向上、提供する情報の拡充等、案内機能の充実を図る。</li> <li>・バリアフリー観光業や重度障害者介助等のニーズに対しては、他市での実績もあるNPO法人と連携して実施する。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により来客数が減少しているが、感染症の状況を踏まえて、対策を講じた上で事業を推進する。</li> </ul>				

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		○					○			○						○

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和4年度 人員配置(人)					
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源						
02決算	19,244	4,050	23,294	3,517	0	0	19,777	正規	0.50	7/11/1	0.00		
03当初予算	22,154	4,590	26,744	0	0	0	26,744		再任用		0.00	その他	0.10
03決算	16,529	4,590	21,119	0	0	0	21,119		任期付		0.00	合計	0.60
04当初予算	21,274	4,050	25,324	0	0	0	25,324						

<b>令和3年度決算事業費明細</b>	区分(節)	内容	金額	<b>令和4年度当初予算事業費明細</b>	区分(節)	内容	金額
	需用費	水道料金	1,196		需用費	水道料金	2,400
	役務費	火災保険	60		役務費	火災保険	70
	委託料	みんなのトイレ等管理(清掃、警備等)	7,267		委託料	みんなのトイレ等管理(清掃、警備等)	10,554
	使用料及び賃借料	賃料、電気料金、空調機器使用料等	7,709		使用料及び賃借料	賃料、電気料金、空調機器使用料等	7,800
	負担金補助及び交付金	共用部分負担金(電気料金、清掃費等)	297		負担金補助及び交付金	共用部分負担金(電気料金、清掃費等)	450
	<b>合計</b>				16,529	<b>合計</b>	

# 令和4年度 事務事業点検シート

整理番号	0107202000-006	事務事業名	あかし案内所管理運営事業
------	----------------	-------	--------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			2年度	3年度	4年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	あかし案内所の来客数	案内所を活用する来客数を指標とする。			22,828	25,492	30,000
		令和4年度	人	30,000			
<b>指標で表せない成果</b>							
「あかし案内所」において、スタッフの接客向上やバリアフリー情報の収集、専門機関との連携に取り組むことにより、障害の有無や年齢、性別、国籍等にかかわらず、明石で暮らす人や明石を訪れる人の誰もが安心して外出を楽しむことができるユニバーサルツーリズムの推進が図られる。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
障害の有無、年齢、性別、国籍等にかかわらず、誰もが安心して外出を楽しむことができるための拠点として、特に外出の際に支援が必要な方へのサポートや関係機関との連携を行い、ユニバーサルツーリズムを推進することで、これまで外出をあきらめてきた方に「明石は案内所があるから大丈夫」と思っていたいただけるような運営を目指していく。						

# 令和4年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	プラネタリウム・展示・運営事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0107203000 - 001				
		<b>分割/統合</b>	事業の統合						
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>	「天文科学館運営事業」と「プラネタリウム・展示事業」の事業目的が共通しているため統合					
	<b>款</b>	商工費		<b>事業所管課</b>	政策局シティセールス推進室市立天文科学館				
	<b>項</b>	商工費	<b>連絡先</b>		(078)919-5000				
	<b>目</b>	天文科学館費		<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	昭和 35 年度		
	<b>事業</b>	プラネタリウム・展示・運営事業	<b>根拠法令・要綱等</b>		明石市立天文科学館条例、博物館法				
<b>施策分野</b>	3 産業・観光分野			<b>実施方法</b>	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他
	3-4 観光の振興		委託		<input type="checkbox"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		
<b>個別計画</b>									

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	社会教育施設としての事業展開を行うとともに、時のまち明石の全国発信を行う。 また、安全・安心に観覧できるよう感染症対策を徹底し、入館者の満足度の向上を図る。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
入館者数等	入館者数、館外主催イベント・出前講座等参加者数	令和4年度	人	100,000	
出前講座、観望会、Youtube配信等	市民文化の高揚のため、天文学や子午線等に関する情報を伝える出前講座やYoutube配信等の回数	令和4年度	回	100	
<b>事業内容</b>	<b>【令和2年度実績】</b>				
	①天文科学館をテーマに、短歌、写真、イラストなど様々な部門を設け作品を募集する天文科学館開館60周年文芸祭を開催した。(報償費95千円、需用費133千円)				
	②開館60周年、シゴセンジャーデビュー15周年記念オリジナルグッズを製作し販売した。(需用費3,036千円)				
	③開館60周年を記念して「60年のあゆみ1960-2020」のリーフレットを作成した。(需用費176千円)				
④天文科学館60周年記念事業として、展示グラフィックの更新や子午線ライン周辺の整備等の展示更新を行った。					
⑤開館60周年・時の記念日100周年を記念したオンラインイベント「時の記念日100周年」や特別展「『時』展覧会2020in明石」の他、「部分日食中継」等をLive配信で実施した。					
<b>【令和3年度実績】</b>					
①天文科学館のホームページのリニューアルし、情報発信や展示解説などの充実を図る。(需用費1,078千円)					
②日本標準時制定135周年を記念してオリジナルグッズを製作し販売した。(需用費712千円)					
③「日本標準時制定135周年」、「天智天皇の漏刻から1350年」にあわせた記念事業として、「時」をテーマにしたプラネタリウム投影や特別展、講演会を開催した。					
<b>【令和4年度実施予定】</b>					
①2023年のプラネタリウム生誕100周年に向け、長寿日本一である当館のプラネタリウムを全国に発信するためのイベントを実施する。					
②歴史的にも貴重な装置であるプラネタリウム投影機の仕組みを記録・解説する映像を制作する。					
③明石のシンボルである天文科学館が「時と宇宙の博物館」として更なる発展を図るとともに「時のまち明石」の全国発信を行うため、ネット配信を充実させる。					

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
			○													○

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和4年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
02決算	28,538	70,317	98,855	2,831	0	26,284	69,740				
03当初予算	27,590	69,750	97,340	0	0	41,855	55,485	正規	7.60	アルバイト	0.00
03決算	22,250	69,750	92,000	1,117	0	36,168	54,715	再任用	0.00	その他	0.20
04当初予算	26,770	69,120	95,890	0	0	44,742	51,148	任期付	2.80	合計	10.60

区分(節)	内容	金額	令和4年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
報償費	天ボラ、投影用原画作成、講演会、行事出演者等謝礼	2,469	令和4年度当初予算事業費明細	報償費	天ボラ、投影用原画作成、講演会、ナイトミュージアム出演者等謝礼	5,450
需用費	展示資料、天文・投影開設パンフレット、行事チラシ、懸垂幕、グッズ	8,069		需用費	展示資料、天文・投影解説パンフレット、行事チラシ、懸垂幕、グッズ等	8,015
役務費	電話料金、新聞広告料、展示資料、天ボラ・行事保険等	2,424		役務費	展示資料、特別行事楽器運搬費、天ボラ・行事保険、電話・広告料等	2,656
委託料	投影番組・カレンダー作成、ホームページリニューアル等	7,531		委託料	投影番組、カレンダー、プラネタリウムのしくみ映像、等制作等	6,937
備品購入費	赤道儀、神戸隕石ほか	613		備品購入費	ホスピタリティ整備及びネット配信機器整備	2,000
その他	近接地旅費、券売機・レリース料金、会場使用料、会費等	1,144		その他	券売機リース料、レジスター賃借料、日本博物館協議会費・旅費等	1,712
<b>合計</b>		<b>22,250</b>			<b>合計</b>	

# 令和4年度 事務事業点検シート

整理番号	0107203000-001	事務事業名	プラネタリウム・展示・運営事業
------	----------------	-------	-----------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			2年度	3年度	4年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	入館者数等	入館者数、館外主催イベント・出前講座等参加者数			57,000	90,000	100,000
		令和4年度	人	100,000			
	出前講座、観望会、Youtube配信等	市民文化の高揚のため、天文学や子午線等に関する情報を伝える出前講座やYoutube配信等の回数			3,100	3,500	100
		令和4年度	回	100			
<b>指標で表せない成果</b>							
・オンラインイベントでの視聴者数及び天文科学館チャンネル(Youtube)の登録者数と全視聴回数							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<p>・天文科学館を全国にPRする手段として、魅力あるオリジナルグッズ製作や各種オンラインイベントの実施は極めて有効である。令和3年度については、東経135度日本標準時制定135周年を祝うオンラインイベントを実施し、併せてオリジナル記念グッズやピンバッジ等を制作して販売する。</p> <p>各種オンラインイベントについては、新型コロナウイルス感染の影響により、来館者が激減している中、インターネット配信(Youtube)を通じ、天文科学館を広く発信し、館のPRを行う。</p> <p>・インターネット配信(Youtube)だけでなく、ツイッター、ホームページ、広報あかしをはじめ、各新聞やミニコミ紙、雑誌記事等、無料広報手段を維持しながら、今後も広報活動を行い、魅力ある天文科学館を広く発信していく。</p> <p>・今後は、感染症対策による新しい生活様式を取り入れ、安全・安心に観覧できるよう運営することを目指すとともに、工夫を凝らした事業展開を進める。</p>						

# 令和4年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	天文科学館施設維持管理事業			新規/継続	継続事業	整理番号	0107203000 - 002			
				分割/統合						
<b>関連予算科目</b>	会計	一般会計			事業の分割/統合の内容					
	款	商工費				事業所管課	政策局シティセールス推進室市立天文科学館			
	項	商工費			連絡先		(078)919-5000			
	目	天文科学館費				自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 35 年度	
	事業	天文科学館施設維持管理事業			根拠法令・要綱等		明石市立天文科学館条例、博物館法、建築基準法、消防法、電気事業法			
<b>施策分野</b>	3 産業・観光分野			実施方法		直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他
	3-4 観光の振興				委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		
<b>個別計画</b>										

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	天文科学館の施設及び設備全般 プラネタリウム、展示設備、空調設備、消防設備、自家用電気工作物などを、入館者が安全・安心・快適（感染症対策含）に施設を利用できるように、適正に維持管理する。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
施設設備の不具合による来館者に及ぼす重大な影響件数	施設設備の適正な維持管理ができていれば、入館者が安全・安心かつ快適に施設見学ができる。	令和4年度	件	0	
<b>事業内容</b>	<b>【令和2年度実績】</b>				
	①プラネタリウム投影機オーバーホール業務を行う。（現契約額24,306.7千円） 新型コロナウイルス感染症対策の影響により、令和3年度へ繰越処理を行った。（繰越額28,500千円）				
	②日時計広場自動扉の修繕を行った。（契約額440千円）				
	③太陽望遠鏡ドームスリットレールカバーの修繕を行った。（契約額450千円）				
④空調用水質管理装置の修繕を行った。（契約額499.4千円）					
<b>【令和3年度見込】</b>					
①施設保全として修繕を行うとともに、長期的な保全計画を作成する。 ・非常用自家発電設備蓄電池等修繕（契約額 253千円） ・天文科学館2021年度中央監視・ITV設備等修繕（契約額814千円） ・太陽観測室映像装置修繕（契約額7,524千円） ・プラネタリウムドーム非常口用扉修繕（契約額935千円）					
<b>【令和4年度実施予定】</b>					
①施設保全として長期保全計画に基づき修繕を行う（予算額5,000千円） ②令和2年度より繰越業務として、プラネタリウム投影機オーバーホール業務を行う。（予算額24,500千円） ③空調設備他更新工事の設計委託を行う。（予算額10,000千円）					

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
			○													

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和4年度 人員配置(人)				
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源					
02決算	85,810	22,383	108,193	0	0	2,159	106,034	正規	2.40	アルバイト	0.00	
03当初予算	95,887	18,450	114,337	0	3,000	4,500	106,837		再任用	0.00	その他	0.80
03決算	94,151	18,450	112,601	0	2,700	3,134	106,767		任期付	0.20	合計	3.40
04当初予算	126,494	19,980	146,474	0	34,500	4,500	107,474					

令和3年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和4年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	非常口用扉修繕、施設保全用修繕、光熱水費、プラネタリウム用消耗品等	18,414		需用費	非常口用扉修繕、施設保全用修繕、光熱水費、プラネタリウム用消耗品等	16,820
	役務費	プラネタリウムドーム内座席清掃等ネットワーク回線	289		役務費	プラネタリウムドーム内座席清掃等ネットワーク回線	298
	委託料	受付案内業務、清掃警備業務、各種保守点検業務等	53,118		委託料	受付案内業務、清掃警備業務、各種保守点検業務等	87,335
	使用料及び賃借料	土地賃借料、駐車場賃借料、電話設備賃借料	21,737		使用料及び賃借料	土地賃借料、駐車場賃借料、電話設備賃借料	21,751
	備品購入費	プラネタリウム音響用各種プレーヤー等	593		備品購入費	傘袋装着機、高画質プリンター等	290
	<b>合計</b>		<b>94,151</b>		<b>合計</b>		<b>126,494</b>

# 令和4年度 事務事業点検シート

整理番号	0107203000-002	事務事業名	天文科学館施設維持管理事業
------	----------------	-------	---------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			2年度	3年度	4年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	施設設備の不具合による来館者に及ぼす重大な影響件数	施設設備の適正な維持管理ができていれば、入館者が安全・安心かつ快適に施設見学ができる。			0	0	0
		令和4年度	件	0			
<b>指標で表せない成果</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全かつ快適に施設見学してもらうことにより顧客満足度が上がり、リピーターが増える。</li> <li>・歳入増につながる。</li> <li>・時のまちあかしのシンボルとして価値がさらに高まる。</li> </ul>							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
						×
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラネタリウム投影機については当面、整備を続けながら一日も長く使用できるようにする。H27年度及びH28年度にミニオーバーホールを実施し、令和元年度には、オーバーホール実施のための予備調査を行った。令和2年度にはオーバーホールを行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、令和3年度へ繰越実施を予定する。今後も安定運用に向けて、日々のメンテナンスや定期的な整備計画を図る。</li> <li>・プラネタリウム補助投影機や音響設備及び、展示設備などを順次改修し、入館者の満足度を向上させる。</li> <li>・震災復旧工事から20年以上が経ち、設備の老朽化が随所にみられる。空調等老朽設備の改修や照明器具のLED化など設備の整備を順次行っていき、来館者にとって安心、安全な空間にする。</li> <li>・天体観測設備とICT設備等を整備し、「観光施設」、「科学館」の両面から明石を全国に広く発信する。</li> </ul>						



# 令和4年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	本のまち明石推進事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0107204000 - 001			
		<b>分割/統合</b>						
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>					
	<b>款</b>	総務費		<b>事業所管課</b>	政策局シティセールス推進室本のまち推進課			
	<b>項</b>	総務管理費			<b>連絡先</b>	(078)918-5209		
	<b>目</b>	企画費		<b>自治/法定</b>		自治事務	<b>開始年度</b>	平成 26 年度
	<b>事業</b>	本のまち明石推進事業						
<b>施策分野</b>	2 教育・文化分野		<b>根拠法令・要綱等</b>	社会教育法、図書館法、子どもの読書活動の推進に関する法律、文字・活字文化振興法、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律				
	2-5 生涯学習の推進			<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	
<b>個別計画</b>	(仮称)市民図書館整備基本計画		委託			指定管理	○	

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>																
	「やさしいまち」「教養・文化の薫り高いまち」として明石の魅力を一層高めるため、あかし市民図書館を核として、いつでも、どこでも、だれでも、手を伸ばせば本に届くまちづくりを進める。																
	<b>成果指標</b>																
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>												
	本の貸出冊数	あかし市民図書館、西部図書館、移動図書館、学校図書館等の貸出冊数合計	令和4年度	冊	3,200,000												
<b>事業内容</b>	①あかし保育絵本士養成講座（基礎コース）の実施 【令和2年度実績】 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため講座中止 【令和3年度実績】 認定者数 14名（うち公立3名、私立11名） 【令和4年度見込】 認定者数 21名 ②あかし保育絵本士養成講座（応用コース）の実施 【令和2年度実績】 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため講座中止 【令和3年度実績】 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため講座中止 【令和4年度見込】 募集人数 15名 ③読書バリアフリー環境の整備 【令和2年度実績】 西部図書館への音声読み上げ器の新設及び拡大読書器の更新、西部図書館のサイン表示をユニバーサル仕様に更新 【令和3年度実績】 視覚障害者等への図書館利用案内CDの配布拡大、西部図書館での対面朗読サービス開始 【令和4年度見込】 西部図書館への読書バリアフリーコーナーの設置、あかし市民図書館への点字ディスプレイの新設 ④あかし本のまち大使の任命（令和元年6月11日） 明石市出身で芥川賞作家の上田岳弘氏を「本のまち大使」に任命。 ⑤明石市本のまち基金の設立 一般財団法人公立図書館助成会からの寄付金を原資に設立。（令和2年1月26日寄附金受領） ⑥周年記念イベント等の実施 ⑦明石まちなか図書館の実施（令和2年度～令和4年度） SDGsを踏まえ、信金中央金庫による企業版ふるさと納税を活用し、日新信用金庫等と連携した「まちなか図書館」事業を実施																
	SDGs（17の目標）																
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
				○						○	○						○

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和4年度 人員配置（人）				
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源					
02決算	1,453	20,160	21,613	166	0	119	21,328	正規	1.50	アバト	0.00	
03当初予算	11,315	16,300	27,615	538	0	4,800	22,277		再任用	0.00	その他	0.00
03決算	6,407	16,300	22,707	374	0	4,760	17,573		任期付	0.50	合計	2.00
04当初予算	10,347	13,500	23,847	540	0	5,260	18,047					

<b>令和3年度決算事業費明細</b>	区分（節）	内容	金額	<b>令和4年度当初予算事業費明細</b>	区分（節）	内容	金額
	報償費	あかし保育絵本士講師謝礼等	425		報償費	あかし保育絵本士講師謝礼等	1,316
	旅費	あかし保育絵本士講師旅費、近接地旅費等	68		旅費	あかし保育絵本士講師旅費、近接地旅費等	890
	需用費	消耗品及び印刷製本費、移動図書館車庫光熱水費等	676		需用費	消耗品及び印刷製本費、移動図書館車庫光熱水費等	1,137
	委託料	明石まちなか図書館業務委託、移動図書館車庫機械警備委託	4,892		委託料	明石まちなか図書館業務委託等	6,240
	使用料及び賃借料	コピー使用料、会場使用料等	327		使用料及び賃借料	コピー使用料、会場使用料等	410
	その他	消防設備点検費ほか	19		その他	資料点訳手数料、明石本のまち基金積立金等	354
	<b>合計</b>				<b>6,407</b>	<b>合計</b>	



# 令和4年度 事務事業点検シート

整理番号	0107204000-001	事務事業名	本のまち明石推進事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			2年度	3年度	4年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	本の貸出冊数	あかし市民図書館、西部図書館、移動図書館、学校図書館等の貸出冊数合計			2,601,785	2,905,252	3,200,000
		令和4年度	冊	3,200,000			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>令和2年度に新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、市立図書館の来館者数や貸出冊数は大きく減少した一方、宅配サービスなど、非来館型サービスの需要が高まっている。今後については、「いつでも、どこでも、だれでも」手を伸ばせば本に届く「本のまち明石」を実現するため、読書バリアフリーに関する更なる取組や明石まちなか図書館事業を進める。</p> <p>（ひょうご地域創生交付金活用事業） あかし保育絵本士養成講座の基礎コースを実施し、14名の方を新たにあかし保育絵本士に認定した。</p> <p>（企業版ふるさと納税寄附金活用事業） 信金中央金庫からの企業版ふるさと納税（SCBふるさと応援団）を活用し、日新信用金庫との連携事業「明石まちなか図書館」を実施する（事業年度：令和2年度～令和4年度の3か年）。</p> <p>令和2年度：明石まちなか図書館の開設準備 令和3年度：明石まちなか図書館の開設準備 令和4年度：明石まちなか図書館の開設（日新信用金庫市内本支店10店舗内）、明石コミュニティ創造協会と連携したブックスポット事業を実施</p>						

# 令和4年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	図書館運営事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0107204000 - 002		
		<b>分割/統合</b>					
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>				
	<b>款</b>	教育費					
	<b>項</b>	社会教育費	<b>事業所管課</b>	政策局シティセールス推進室本のまち推進課			
	<b>目</b>	図書館費	<b>連絡先</b>	(078)918-5209			
	<b>事業</b>	図書館運営事業	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	昭和 49 年度	
<b>施策分野</b>	2 教育・文化分野		<b>根拠法令・要綱等</b>	図書館法、明石市立図書館条例・同施行規則、地方自治法、明石市公の施設に係る指定管理者の指定手続き等に関する条例			
	2-5 生涯学習の推進			<b>実施方法</b>	直営	補助・助成	その他
<b>個別計画</b>	あかし教育プラン		委託		指定管理	○	

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	図書館を本のまちの核施設として位置付け、図書館サービスの充実・向上を図り、施設設備の維持管理を含めた指定管理者による図書館の適正かつ円滑な管理運営を行うとともに、市民の教養、調査研究、レクリエーション等生涯学習活動に資することを旨とする。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
貸出冊数	あかし市民図書館、西部図書館、移動図書館の貸出冊数の合計（電子書籍及び放課後ブックサークルの実績を含む。）	令和4年度	冊	2,500,000	
来館者数	あかし市民図書館と西部図書館の来館者数合計	令和4年度	人	1,250,000	
<b>事業内容</b>	①指定管理者による管理運営 あかし市民図書館を「本のまち明石」の推進の核施設とし、指定管理者と連携しながら取組を進める。 ・指定管理者：TRC・長谷工・神戸新聞グループ（代表）㈱図書館流通センター、（構成）㈱長谷工コミュニティ、㈱神戸新聞地域創造 ・指定期間：平成27年4月1日～令和4年3月31日（7年間） ※令和6年3月31日まで延長。 ・運営状況： 【令和2年度実績】登録者数 100,703人、貸出冊数 2,041,281冊（主な取組：絵本の宅配便事業の実施） 【令和3年度実績】登録者数 96,823人、貸出冊数 2,289,207冊（主な取組：あかし市民図書館における開館時間の延長） 【令和4年度見込】登録者数 97,000人、貸出冊数 2,500,000冊（主な取組：音声読み上げアプリのアカウント貸出の開始）				
	②ブックスタート事業（4か月児）・ブックセカンド事業（3歳6か月児）の実施				
	③放課後ブックサークル事業 【令和2年度実績】総貸出冊数 22,400冊 【令和3年度実績】総貸出冊数 21,840冊 【令和4年度見込】総貸出冊数 22,000冊				

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
			○						○	○						○

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和4年度 人員配置(人)							
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
02決算	375,763	19,540	395,303	2,056	0	922	392,325	正規	1.50	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00				
03当初予算	401,343	15,300	416,643	3,331	20,000	1,003	392,309								
03決算	392,902	15,300	408,202	1,378	16,600	953	389,271					再任用	0.00	その他	0.00
04当初予算	386,646	13,500	400,146	2,113	0	1,034	396,999					任期付	0.50	合計	2.00

<b>令和3年度決算事業費明細</b>	<b>区分(節)</b>	<b>内容</b>	<b>金額</b>	<b>令和4年度当初予算事業費明細</b>	<b>区分(節)</b>	<b>内容</b>	<b>金額</b>
	需用費	ブックセカンド絵本代等	4,226		需用費	ブックセカンド絵本代等	4,050
	委託料	指定管理料	388,676		役務費	アンケート返送用後納郵便料	178
					委託料	指定管理料	380,000
					備品購入費	市立西部図書館読書バリアフリーコーナー用備品購入費等	2,418
	<b>合計</b>				392,902	<b>合計</b>	

# 令和4年度 事務事業点検シート

整理番号	0107204000-002	事務事業名	図書館運営事業
------	----------------	-------	---------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			2年度	3年度	4年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	貸出冊数	あかし市民図書館、西部図書館、移動図書館の貸出冊数の合計(電子書籍及び放課後ブックサークルの実績を含む。)			2,041,281	2,289,207	2,500,000
		令和4年度	冊	2,500,000			
	来館者数	あかし市民図書館と西部図書館の来館者数合計			854,558	990,623	1,250,000
		令和4年度	人	1,250,000			
<b>指標で表せない成果</b>							
読書を通じた市民の文化的な満足度や教養の向上を図るとともに、市民生活に役立つ情報提供が行われている。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<p>あかし市民図書館を「本のまち明石」推進の拠点施設として位置づけ、指定管理者と連携しながら、テーマ設定を含めた展示の方法を工夫するなど、市民がより一層本に親しめる事業や図書館の楽しさを伝えることができる事業への取組みを推進するとともに、西部図書館や移動図書館車の利用促進などにも取組み、各地域への図書館サービスの更なる充実を目指す。</p> <p>また、障害の有無や年齢に関わらず、乳幼児から高齢者まで、誰もが読書を楽しめるよう、ユニバーサル・サービスの一層の充実と周知を図る。</p> <p>(ひょうご地域創生交付金活用事業) ブックセカンド事業を実施し、3歳6か月児健康診査の受診対象者全員に、絵本1冊をプレゼントした。</p>						

# 令和4年度 事務事業点検シート

事務事業名	総合案内事務事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0107300000 - 001			
			分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	総務費		事業所管課	政策局市民相談室				
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5188					
	目	一般管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 16 年度			
	事業	総合案内事務事業	根拠法令・要綱等						
施策分野	6 行政経営分野	実施方法		直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>
	6-3 市民ニーズに対応した行政経営		委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>			
個別計画									

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	市役所の総合案内窓口として迅速かつ的確な来庁者への案内を行うとともに、本市職員を対象としたCS研修を実施して、職員一人ひとりの接客マナーの向上を図る。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	総合案内 応対件数	来庁者への案内件数及び駐車券磁気処理件数(目標値の設定は事業内容上適当でないため実績値のみ記載)		人	
保育ルーム 利用件数	託児・授乳・おむつ替え件数(目標値の設定は、事業内容上適当でないため実績値のみ記載)		人		
事業内容	1 案内業務の実施 来庁者への案内業務として、本庁舎1階正面での案内と併せ、同2階にフロアマネージャーを配置する。 ・令和2年度 総合案内係応対件数 243日 92,438件 ・令和3年度 総合案内係応対件数 242日 86,399件 ・令和4年度(見込み) 総合案内係応対件数 250日 90,000件				
	2 保育ルームの運営 乳幼児連れ来庁者の利便を図るため、市役所庁舎内に保育ルームを設置し、一時託児業務や授乳・おむつ替えスペースを提供する。 ・令和2年度 保育ルーム利用件数 243日 853件 ・令和3年度 保育ルーム利用件数 242日 876件 ・令和4年度(見込み) 保育ルーム利用件数 250日 900件				
	3 CS研修の実施 本市職員に対するCS研修として、階層別研修や職種別スキルアップ研修などを実施する。 ・令和2年度 新型コロナウイルス感染症対策のため、実施していない。 ・令和3年度 新型コロナウイルス感染症対策のため、実施していない。 ・令和4年度(見込み) 新型コロナウイルス感染症対策のため、未定。				
	SDGs(17の目標)				
	①	②	③	④	⑤
	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
	⑯	⑰	○		

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
															○	

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和4年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
02決算	223	25,830	26,053	0	0	0	26,053	正規	1.10	アルバイト	0.00
03当初予算	896	25,470	26,366	0	0	0	26,366	再任用	0.10	その他	0.00
03決算	281	25,470	25,751	0	0	0	25,751	任期付	6.00	合計	7.20
04当初予算	865	25,470	26,335	0	0	0	26,335				

令和3年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和4年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	CS研修講師謝礼	0		報償費	CS研修講師謝礼	130
旅費	研修旅費	0	旅費	研修旅費	10		
需用費	消耗品費(保育ルーム関連の経費等)	191	需用費	消耗品費(保育ルーム関連の経費等)	204		
役務費	保育ルーム傷害保険等	63	役務費	保育ルーム傷害保険等	60		
委託料	CS研修実施委託料	27	委託料	CS研修実施委託料	396		
その他	コピー機使用料・研修負担金	0	その他	コピー機使用料・研修負担金	65		
合計		281	合計		865		

# 令和4年度 事務事業点検シート

整理番号	0107300000-001	事務事業名	総合案内事務事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			2年度	3年度	4年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	総合案内 対応件数	来庁者への案内件数及び駐車券磁気処理件数 (目標値の設定は事業内容上適当でないため実績値のみ記載)			92,438	86,399	90,000
			人				
	保育ルーム 利用件数	託児・授乳・おむつ替え件数(目標値の設定は、 事業内容上適当でないため実績値のみ記載)			853	876	900
			人				
<b>指標で表せない成果</b>							
保育ルームに関して、託児業務は保育士の免許を持った職員が対応しており、乳幼児連れの来庁者が安心して各種手続きや相談などの用務を行える環境を整えている。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
市役所の組織や業務内容、執務場所が分からず来庁し、戸惑う市民が少なからず存在している。中核市へ移行したため、業務内容はさらに多様化しており、総合案内業務の必要性はこれまで以上に高まっている。 市民に対する市職員の適切な対応が近年強く求められてきており、今後もCS研修を通じて、職員一人ひとりの接客意識の向上を継続的に図っていく必要がある。						

# 令和4年度 事務事業点検シート

事務事業名		犯罪被害者等支援事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0107300000 - 002			
			分割/統合						
関連 予算 算科 目	会計	一般会計	事業の分割/ 統合の内容						
	款	総務費							
	項	総務管理費	事業所管課	政策局市民相談室					
	目	一般管理費	連絡先	(078)918-5002					
	事業	犯罪被害者等支援事業	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 23 年度			
施策分野		4 生活・環境分野	根拠法令 ・要綱等	明石市犯罪被害者等の支援に関する条例 明石市旧優生保護法被害者等の尊厳回復及び支援に関する条例					
		4-1 防災・生活安全対策の推進		実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他
個別計画			委託		<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		

**目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）**  
 誰もが犯罪被害に遭う可能性がある現在、すべての市民が安心して暮らせるまちづくりを進めていくため、犯罪被害者等に対し継続的かつきめ細やかな支援を行うとともに、将来のセーフティネットとしての施策を推進する。  
 旧優生保護法の規定により強制的に不妊・中絶手術を受けた人及びその配偶者に寄り添って支援し、優生思想を許さないまちづくりを推進する。

<b>成果指標</b>				
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
支援金等支給件数	犯罪被害者等及び旧優生保護法被害者への支援件数(目標値の設定は、事業内容上適当でないため実績値のみ記載)		件	

**事業内容**

1 犯罪被害者等に対する支援の実施  
 令和2年4月に改正施行された条例に基づく新たな支援策等の実施により、きめ細やかな支援を行うとともに、犯罪被害者等支援の啓発に努める。  
**【支援策】**  
 ・総合相談窓口の設置、精通弁護士等による法律相談料の補助、臨床心理士等による心理相談料の補助  
 ・家事援助、介護支援者の派遣、配食サービスの補助  
 ・一時保育費用の補助、教育関係費用の補助、住居復旧及び防犯対策費用の補助  
 ・家賃補助、転居費用の補助、宿泊費用の補助、就労準備費用の補助  
 ・支援金、特例給付金、貸付金  
 ・真相究明支援  
 ・裁判手続に出席等する場合の旅費の補助、再提訴等費用の補助、財産開示手続及び情報取得手続費用の補助  
 ・立替支援金  
**【支援件数】**  
 ・令和2年度 家賃補助 1件、転居費用の補助 1件、立替支援金 1件  
 ・令和3年度 支援金 3件  
 ・令和4年度(見込み) 支援金 3件

2 旧優生保護法被害者等に対する支援の実施  
 令和3年12月に施行された条例に基づき、旧優生保護法被害者等の尊厳回復及び支援を行う。  
**【支援策】** **【支援件数】**  
 ・支援金 ・令和3年度 支援金 2件  
 ・令和4年度(見込み) 支援金 1件

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		○								○					○	○

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和4年度 人員配置(人)							
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
02決算	4,554	4,905	9,459	0	0	1,010	8,449	正規	0.95	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00				
03当初予算	9,481	7,695	17,176	0	0	3,310	13,866								
03決算	8,012	7,695	15,707	0	0	0	15,707					再任用	0.00	その他	0.00
04当初予算	14,070	7,695	21,765	0	0	3,310	18,455					任期付	0.00	合計	0.95

令和3年度 決算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額	令和4年度 当初 予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	委員報酬等	88		報償費	委員報酬等	220
需用費	コピー用紙等	69	委託料	日常生活支援、身体介護支援等	600		
扶助費	支援金、 旧優生保護法被害者等支援金	6,854	扶助費	支援金、立替支援金、転居費用 の補助、家賃補助、一時保育等	11,000		
積立金	基金積立金	1,000	貸付金	貸付金	1,000		
その他	旅費等	1	積立金	基金積立金	1,010		
			その他	旅費等	240		
	<b>合計</b>		<b>8,012</b>		<b>合計</b>	<b>14,070</b>	

# 令和4年度 事務事業点検シート

整理番号	0107300000-002	事務事業名	犯罪被害者等支援事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			2年度	3年度	4年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	支援金等支給件数	犯罪被害者等及び旧優生保護法被害者への支援件数(目標値の設定は、事業内容上適当でないため実績値のみ記載)			3	5	4
		件					
<b>指標で表せない成果</b>							
犯罪被害者等が支援を受けることで、被害の軽減及び回復を図り、平穏な生活を取り戻す一助となる。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
犯罪被害者等の経済的困難や精神的被害をより一層軽減するため、犯罪被害者等の意見を聞きながら犯罪被害者等の視点に立ったきめ細かい施策の実施及び市民、職員等の理解を深めるための施策の展開を図る。 旧優生保護法の規定により強制的に不妊・中絶手術を受けた人及びその配偶者に寄り添って支援し、優生思想を許さないまちづくりを推進する。						



# 令和4年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	広聴事務事業		<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0107300000 - 003				
			<b>分割/統合</b>							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>							
	<b>款</b>	総務費		<b>事業所管課</b>	政策局市民相談室					
	<b>項</b>	総務管理費			<b>連絡先</b>	(078)918-5050				
	<b>目</b>	文書広報費		<b>自治/法定</b>		自治事務	<b>開始年度</b>	不明		
	<b>事業</b>	広聴事務事業								
<b>施策分野</b>	6 行政経営分野		<b>根拠法令・要綱等</b>	明石市自治基本条例 明石市法令遵守の推進等に関する条例						
	6-3 市民ニーズに対応した行政経営			<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	その他		
<b>個別計画</b>										
			委託		指定管理					

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	市民の市政に対する要望、苦情等に対して誠実かつ迅速に対応し、その内容を施策又は事業の改善に反映するよう努める。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
	市民の声が市政に反映された件数	市に寄せられた要望・提案のうち、市政に反映された件数（一部実施・実施予定を含む）	毎年度	件	60
専用電話利用件数	気軽に相談いただくことを目的に設置した市政相談専用電話の利用件数（窓口対応等含む）	毎年度	件	1,200	
<b>事業内容</b>	1 要望・提案等の対応 要望・提案等に誠実かつ迅速に対応するとともに、市民の声データベースシステムへ登録して庁内で情報共有を図る。また、ホームページで市の考え方を公表し市政の透明性の向上に努める。 ・令和2年度 活動実績 705件 ・令和3年度 活動実績 601件 ・令和4年度(見込み) 活動実績 700件				
	2 市長陳情 複数の市民や各種団体からの意見や要望を文書で受け付ける。 ・令和2年度 受付件数 8件 ・令和3年度 受付件数 8件 ・令和4年度(見込み) 受付件数 8件				
	3 市政相談専用電話（窓口対応等含む） 市政に対する意見・要望を聴く市政相談専用電話を設置し「どこに聞けばいいのかわからない」といった市民の声に対応する。 ・令和2年度 受付件数 1714件 ・令和3年度 受付件数 1,946件 ・令和4年度(見込み) 受付件数 1,800件				

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
																○

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和4年度 人員配置(人)							
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
02決算	1,185	18,135	19,320	0	0	0	19,320	正規	0.85	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00				
03当初予算	1,866	17,595	19,461	0	0	0	19,461								
03決算	1,785	17,595	19,380	0	0	0	19,380					再任用	1.30	その他	1.00
04当初予算	741	17,595	18,336	0	0	0	18,336					任期付	0.90	合計	4.05

<b>令和3年度決算事業費明細</b>	区分(節)	内容	金額	<b>令和4年度当初予算事業費明細</b>	区分(節)	内容	金額		
	旅費	近接地旅費	2		旅費	近接地旅費	5		
	需用費	事務用品購入費等	67		需用費	事務用品購入費等	70		
	役務費	傷害保険料	0		役務費	傷害保険料	8		
	委託料	市民の声データベースシステムの保守管理等	1,507		委託料	市民の声データベースシステムの保守管理等	420		
	使用料及び賃借料	市民の声データベースサーバー賃借料	209		使用料及び賃借料	市民の声データベースサーバー賃借料	238		
	<b>合計</b>				1,785	<b>合計</b>			741

# 令和4年度 事務事業点検シート

整理番号	0107300000-003	事務事業名	広聴事務事業
------	----------------	-------	--------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			2年度	3年度	4年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	市民の声が市政に反映された件数	市に寄せられた要望・提案のうち、市政に反映された件数(一部実施・実施予定を含む)			89	87	85
		毎年度	件	60			
	専用電話利用件数	気軽に相談いただくことを目的に設置した市政相談専用電話の利用件数(窓口対応等含む)			1,714	1,946	1,800
		毎年度	件	1,200			
<b>指標で表せない成果</b>							
市政に関する要望、提案等を丁寧に聴き、相手の立場を考慮した迅速な対応を行うとともに、事務の改善につなげることにより、市政への信頼が高まる。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・要望、提案等について適切に対応するとともに、その内容については市民の声データベースへ登録し全庁的に情報共有を図ることと併せて、市ホームページ上での公表について今後も継続する。</li> <li>・施設見学会については、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、現在実施見送りとしている。</li> <li>再開は未定であるが、近年、参加者の高齢化が進んでいることから、再開の折には見学会を安全に実施できるよう、内容の見直しなど検討を進めていく。</li> </ul>						

# 令和4年度 事務事業点検シート

事務事業名		市民相談事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0107300000 - 004				
			分割/統合							
関連 予算 算科 目	会計	一般会計	事業の分割/ 統合の内容							
	款	総務費	事業所管課	政策局市民相談室						
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5002						
	目	文書広報費	自治/法定	自治事務	開始年度	不明				
	事業	市民相談事業	根拠法令 ・要綱等							
施策分野		6 行政経営分野	実施方法		直営	○	補助・助成		その他	
		6-3 市民ニーズに対応した行政経営			委託	○	指定管理			
個別計画										

事業の 目的・ 目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	市民ニーズに対応する相談メニューを提供し、市民の生活の安定と満足度を向上させる。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	各種相談件数	各種相談の利用件数(目標値の設定は、事業内容上適 当でないため実績値のみ記載)		件	
事業 内容	1 各種市民相談の実施				
	(1) 一般相談 日常生活上の問題				
	・令和2年度 3,970件				
	・令和3年度 4,278件 ・令和4年度(見込み) 4,000件				
	(2) 特別相談 法律相談(弁護士)、法務・登記相談(司法書士)ほか				
	・令和2年度 1,399件(専門職員の相談件数を含む)				
	・令和3年度 1,364件(専門職員の相談件数を含む) ・令和4年度(見込み) 1,400件(専門職員の相談件数を含む)				
	2 こども養育支援の実施				
	(1) 養育支援講座(ガイダンス)				
	・令和2年度 22名 ・令和3年度 7名 ・令和4年度(見込み) 20名				
(2) 面会交流のコーディネート					
・令和2年度 50回 ・令和3年度 74回 ・令和4年度(見込み) 100回					
(3) 養育費の立替え支援事業					
・令和2年度 23件 ・令和3年度 未実施 ・令和4年度(見込み) 50件					
(4) 養育費取決めサポート事業					
・令和2年度 34件 ・令和3年度 41件 ・令和4年度(見込み) 50件					
3 無戸籍者支援の実施					
無戸籍24時間相談ダイヤルを設置するとともに、戸籍を作るための裁判所への申立費用の補助を実施する。					
(1) 無戸籍者等の相談件数					
・令和2年度 3件 ・令和3年度 2件 ・令和4年度(見込み) 3件					

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
○		○	○												○	○

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和4年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
02決算	5,699	27,055	32,754	4,254	0	0	28,500	正規	2.45	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
03当初予算	9,448	30,645	40,093	3,684	0	1,700	34,709	再任用	3.00	その他	0.00
03決算	5,596	30,645	36,241	3,970	0	0	32,271	任期付	0.00	合計	5.45
04当初予算	27,436	30,645	58,081	3,391	0	15,307	39,383				

令和3 年度 決算 事業 費 明 細	区分(節)	内容	金額	令和4 年度 当初 予算 事業 費 明 細	区分(節)	内容	金額
	需用費	委員報酬費等	662		報償費	委員報酬等	540
	委託料	法律相談等委託料	3,749		需用費	六法全書等参考図書、弁護士等 湯茶等	390
	使用料及び賃 借料	コピー使用料等	110		役務費	郵送料、裁判所手続手数料	2,252
	負担金補助及 び交付金	リーガルエイド基金負担金等	248		委託料	法律相談等委託料	4,317
	扶助費	養育費取決めサポート等	743		扶助費	養育費履行確保支援等	19,150
	その他	報償費等	84		その他	旅費等	787
	合計		5,596		合計		27,436

# 令和4年度 事務事業点検シート

整理番号	0107300000-004	事務事業名	市民相談事業
------	----------------	-------	--------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			2年度	3年度	4年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	各種相談件数	各種相談の利用件数(目標値の設定は、事業内容上適当でないため実績値のみ記載)			3,970	4,278	4,000
		件					
<b>指標で表せない成果</b>							
市民相談員が面談、電話などで受け付けるため、相談者の言葉、態度などで概ね満足度は計れるものとする。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
複雑化する社会にあつて、人間関係の希薄さ、コミュニケーション能力の不足などで、相談する相手がいない、対処方法がわからないという市民の相談を受ける総合窓口の役割を果たすとともに、専門家の助言が必要な場合には、的確に案内することで相談者のニーズに応える相談事業は今後とも必要とする。						

# 令和4年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	行政情報センター運営事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0107300000 - 005		
			分割/統合					
<b>関連予算科目</b>	会計	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>					
	款	総務費		<b>事業所管課</b>	政策局市民相談室			
	項	総務管理費			<b>連絡先</b>	(078)918-5003		
	目	文書広報費		<b>自治/法定</b>		自治事務	開始年度	昭和 63 年度
	事業	行政情報センター運営事業						
<b>施策分野</b>	6 行政経営分野		<b>根拠法令・要綱等</b>	明石市情報公開条例 明石市個人情報保護条例				
	6-3 市民ニーズに対応した行政経営			<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	その他
<b>個別計画</b>					委託	指定管理		

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	市民が必要とする市政情報が収集・整備され、市民がそれらの情報を十分に入手できる。 市民の知る権利が尊重され、情報公開条例に基づく公文書の公開請求への適切な対応がなされている。 個人情報保護条例に基づき、個人情報が適正に取り扱われ、個人情報の開示等の請求への適切な対応がなされている。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
	公文書公開率	公開率 = (公開 + 部分公開) ÷ (公開 + 部分公開 + 非公開)	令和4年度	%	86
個人情報開示率	開示率 = (開示 + 部分開示) ÷ (開示 + 部分開示 + 不開示)	令和4年度	%	86	
<b>事業内容</b>	<b>1 情報公開制度の運用</b>				
	(1) 公文書公開請求件数及び処理状況				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度 請求190件 決定190件(・公開64件 部分公開101件 非公開25件)</li> <li>・令和3年度 請求196件 決定224件(・公開52件 部分公開136件 非公開36件)</li> <li>・令和4年度(見込み) 請求200件 決定200件</li> </ul>				
	(2) 情報公開審査会の運営				
	・令和2年度 1回開催 ・令和3年度 1回開催 ・令和4年度(見込み) 1回開催				
<b>2 個人情報保護制度の運用</b>					
(1) 個人情報開示請求件数及び処理状況					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度 請求238件 決定250件(・開示150件 部分開示56件 不開示44件)</li> <li>・令和3年度 請求170件 決定176件(・開示114件 部分開示44件 不開示18件)</li> <li>・令和4年度(見込み) 請求180件 決定180件</li> </ul>					
(2) 個人情報保護審査会の運営					
・令和2年度 3回開催 ・令和3年度 3回開催 ・令和4年度(見込み) 3回開催					
<b>3 行政情報センターの運営</b>					
(1) 市政情報の提供等					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度 2,057件(・相談案内541件 閲覧 317件 DVD貸出30件 コピー1,151件 刊行物販売18件)</li> <li>・令和3年度 2,736件(・相談案内599件 閲覧1,009件 DVD貸出12件 コピー1,115件 刊行物販売1件)</li> <li>・令和4年度(見込み) 2,500件</li> </ul>					

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
																○

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和4年度 人員配置(人)							
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
02決算	578	12,835	13,413	0	0	207	13,206	正規	0.15	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00				
03当初予算	1,082	8,595	9,677	0	0	260	9,417		再任用		1.30	その他	0.00		
03決算	626	8,595	9,221	0	0	190	9,031				任期付		1.00	合計	2.45
04当初予算	1,037	8,595	9,632	0	0	260	9,372								

令和3年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和4年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報酬	情報公開審査会・個人情報保護審査会委員(各5名)報酬	199		報酬	情報公開審査会・個人情報保護審査会委員(各5名)報酬	548
報償費	制度に関する指導、相談に係る謝礼	60	報償費	制度に関する指導、相談に係る謝礼	120		
旅費	近接地旅費	5	旅費	委員交通費、近接地旅費	35		
需用費	消耗品費(新聞、コピー用紙等)	323	需用費	消耗品費(新聞、コピー用紙、会議用茶代等)	304		
使用料及び賃借料	コピー機使用料	39	使用料及び賃借料	コピー機使用料	30		
<b>合計</b>			626	<b>合計</b>			1,037

# 令和4年度 事務事業点検シート

整理番号	0107300000-005	事務事業名	行政情報センター運営事業
------	----------------	-------	--------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			2年度	3年度	4年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	公文書公開率	公開率 = (公開+部分公開) ÷ (公開+部分公開+非公開)			87	84	86
		令和4年度	%	86			
	個人情報開示率	開示率 = (開示+部分開示) ÷ (開示+部分開示+不開示)			82	90	86
		令和4年度	%	86			
<b>指標で表せない成果</b>							
広報あかしや市ホームページ等での情報発信にあわせ、行政情報センターにおいて市民が必要とする市政情報の提供を進めることにより、市政への信頼と理解が深まる。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
市民にとってさらに利用しやすく、十分な情報を得ることができるよう、市政情報のさらなる収集、整備に努める。 公文書公開や個人情報開示等の請求に対する受付・相談を適切に行うとともに、必要に応じて情報公開審査会及び個人情報保護審議会の意見を聴き、情報公開制度及び個人情報保護制度の適正な運用に向けて取り組んでいく。						



# 令和4年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	行政オンブズマン事業		<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0107300000 - 006			
			<b>分割/統合</b>						
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>						
	<b>款</b>	総務費		<b>事業所管課</b>	政策局市民相談室				
	<b>項</b>	総務管理費			<b>連絡先</b>	(078)918-5050			
	<b>目</b>	文書広報費		<b>自治/法定</b>		自治事務	<b>開始年度</b>	平成 19 年度	
	<b>事業</b>	行政オンブズマン事業							
<b>施策分野</b>	6 行政経営分野		<b>根拠法令・要綱等</b>	明石市自治基本条例 明石市法令遵守の推進等に関する条例					
	6-2 自立した地方行政の推進			<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	その他	
<b>個別計画</b>			委託			指定管理			

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	市民の市政に関する苦情を公正かつ中立的な立場で簡易迅速に処理し、並びに行政の非違の是正等の勧告及び制度の改善を求めるための意見を表明することにより、市民の権利利益の擁護を図り、もって開かれた市政のより一層の進展と市政に対する市民の信頼の向上に資する。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
	苦情申立て等の件数	オンブズマンへの苦情申立て・調査件数(目標値の設定は、事業内容上適当でないため実績値のみ記載)			
<b>事業内容</b>	1 事務局への問合せ 市民等から寄せられる苦情申立ての相談や制度に関する問合せに対し、オンブズマン事務局(市民相談室職員)が応対して説明する。 ・令和2年度 4件 ・令和3年度 2件 ・令和4年度(見込み) 5件				
	2 オンブズマンの面談 市の業務や職員の行為によって自己の権利や利益を侵害された市民等からの相談を受け、オンブズマンが面談する。 ・令和2年度 4件 ・令和3年度 1件 ・令和4年度(見込み) 3件				
	3 オンブズマンへの苦情申立て・調査 市民等の苦情申立てを受け、オンブズマンが苦情者と市の双方から十分話を聴いたうえで、公正・中立的な判断を行う。 ・令和2年度 1件 ・令和3年度 1件 ・令和4年度(見込み) 2件				

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
																○

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和4年度 人員配置(人)							
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
02決算	1,001	4,725	5,726	0	0	0	5,726	正規	0.35	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00				
03当初予算	2,043	4,185	6,228	0	0	0	6,228								
03決算	912	4,185	5,097	0	0	0	5,097					再任用	0.30	その他	0.00
04当初予算	1,932	4,185	6,117	0	0	0	6,117					任期付	0.10	合計	0.75

令和3年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和4年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報酬	オンブズマン報酬	910		報酬	オンブズマン報酬	1,785
旅費	全国行政苦情救済・オンブズマン制度連絡会等	0	旅費	全国行政苦情救済・オンブズマン制度連絡会等	70		
需用費	書籍購入費、事務用品購入費等	2	需用費	書籍購入費、事務用品購入費等	28		
委託料	調査委託料	0	委託料	調査委託料	30		
使用料及び賃借料	研修会場使用料	0	使用料及び賃借料	研修会場使用料	9		
備品購入費	備品購入費	0	備品購入費	備品購入費	10		
<b>合計</b>			<b>912</b>	<b>合計</b>			<b>1,932</b>

# 令和4年度 事務事業点検シート

整理番号	0107300000-006	事務事業名	行政オンブズマン事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			2年度	3年度	4年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	苦情申立て等の件数	オンブズマンへの苦情申立て・調査件数(目標値の設定は、事業内容上適当でないため実績値のみ記載)			1	1	2
<b>指標で表せない成果</b>							
オンブズマンは、本来所管する事項に限らず幅広く相談に応じている。苦情申立てには至らない場合においても、必要に応じて他の制度を案内するなど、解決に向けた助言により、相談者の救済が図られている。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
本市のオンブズマン制度は、平成19年度に要綱での位置づけでスタートした。 その後、平成22年度に明石市自治基本条例、明石市法令遵守の推進等に関する条例に盛り込まれ恒久的な制度として位置づけられた。市政の公平性を保つ制度として、また市民が気軽に利用できる制度として機能するよう、一層の制度の周知に努める。						

# 令和4年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	計量事務事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0107300000 - 007				
		<b>分割/統合</b>							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>						
	<b>款</b>	総務費							
	<b>項</b>	総務管理費	<b>事業所管課</b>	政策局市民相談室					
	<b>目</b>	男女共同参画・生活対策費	<b>連絡先</b>	(078)918-5634					
	<b>事業</b>	計量事務事業	<b>自治/法定</b>	自治+法定	<b>開始年度</b>	昭和 28 年度			
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野		<b>根拠法令・要綱等</b>	計量法					
	4-1 防災・生活安全対策の推進								
<b>個別計画</b>			<b>実施方法</b>	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>
				委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	計量思想の普及啓発による市民の意識向上と、定期検査及び立入検査等によって市内事業者の適正計量の実施を確保することにより、市民の消費生活の安定と向上を図る。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
	立入検査実施店舗の適正率	商品量目立入検査を実施した店舗のうち、全ての商品において量目不足がなかった店舗数/総立入検査実施店舗数×100	毎年度	%	100
	定期検査受検者の適正事業所率	特定計量器の定期検査を受検した事業所のうち、所有する全ての計量器が合格した事業所数/総検査受検事業所数×100	毎年度	%	100
<b>事業内容</b>	<p>1 特定計量器定期検査の実施及び指定期間検査機関の指導・監督  適正計量の確保のため特定計量器の使用者に対し、指定期間検査機関による定期検査を実施。適切に検査業務が実施されるよう指導・監督を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度 定期検査実施器数(東部区域)827個</li> <li>・令和3年度 定期検査実施器数(西部区域)603個</li> <li>・令和4年度(見込み) 定期検査実施器数(東部区域)917個</li> </ul>				
	<p>2 立入検査の実施  不適正な計量商品の流通を防ぎ、事業者の正確計量意識を高めるため、特定商品販売事業者に対する商品量目立入検査などを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度 立入事業者数 9事業者</li> <li>・令和3年度 立入事業者数 14事業者</li> <li>・令和4年度(見込み) 立入事業者数 28事業者</li> </ul>				
	<p>3 計量啓発事業の実施  計量に関する意識を高めるため、計量強調月間(11月)などにパネル展示を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度 計量強調月間にパネル展示</li> <li>・令和3年度 計量強調月間にパネル展示</li> <li>・令和4年度(見込み) 計量強調月間にパネル展示</li> </ul>				

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
											○					

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和4年度 人員配置(人)							
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
02決算	1,795	9,990	11,785	0	0	0	11,785	正規	1.05	7/11/1	0.90				
03当初予算	1,375	9,990	11,365	0	0	0	11,365								
03決算	1,281	9,990	11,271	0	0	0	11,271					再任用	0.00	その他	0.00
04当初予算	2,015	12,555	14,570	0	0	0	14,570					任期付	0.60	合計	2.55

令和3年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和4年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	計量月間行事(計量モニター)謝礼	24		報償費	計量月間行事(計量モニター)謝礼	30
需用費	消耗品費、修繕料	208	旅費	全国特定市計量行政協議会・全国計量行政会議 ほか	153		
委託料	特定計量器定期検査業務(西部)	1,031	需用費	消耗品費、修繕料	180		
負担金補助及び交付金	全国特定市計量行政協議会団体負担金	18	委託料	特定計量器定期検査業務(東部)	1,634		
			負担金補助及び交付金	全国特定市計量行政協議会団体負担金	18		
<b>合計</b>			1,281	<b>合計</b>			2,015

# 令和4年度 事務事業点検シート

整理番号	0107300000-007	事務事業名	計量事務事業
------	----------------	-------	--------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			2年度	3年度	4年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	立入検査実施店舗の適正率	商品量目立入検査を実施した店舗のうち、全ての商品において量目不足がなかった店舗数／総立入検査実施店舗数×100			100	100	100
		毎年度	%	100			
	定期検査受検者の適正事業所率	特定計量器の定期検査を受検した事業所のうち、所有する全ての計量器が合格した事業所数／総検査受検事業所数×100			99	99	99
		毎年度	%	100			
<b>指標で表せない成果</b>							
啓発事業や定期検査及び立入検査等を実施したことにより、市民と市内事業者の計量思想の意識向上が図られた。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
計量に関する制度は、経済や社会における基本的な制度のひとつであり、計量が正しく維持されることは経済・社会活動を安全なものとするために不可欠である。適正計量の実施を確保するため、法に基づく検査業務を実施し、機器の精度管理や運用状況の適正化を図るとともに、市民に計量思想の普及・啓発を行う。						

# 令和4年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	消費生活対策事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0107300000 - 008				
		<b>分割/統合</b>							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>						
	<b>款</b>	総務費		<b>事業所管課</b>	政策局市民相談室				
	<b>項</b>	総務管理費	<b>連絡先</b>	(078)918-5634					
	<b>目</b>	男女共同参画・生活対策費	<b>自治/法定</b>	自治+法定	<b>開始年度</b>	昭和 45 年度			
	<b>事業</b>	消費生活対策事業	<b>根拠法令・要綱等</b>	消費者安全法、消費者基本法、消費者教育推進法					
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野		<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	○	その他	
	4-1 防災・生活安全対策の推進			委託	○	指定管理			
<b>個別計画</b>									

**目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）**  
 幼児期から高齢者までのライフステージに応じた消費者教育を体系的に推進し、消費者の自立を支援するとともに、市民からの消費生活に関する苦情等に対して助言やあっせんを行うことで、消費者被害の未然防止や救済を図り、市民の消費生活の安定と向上を確保する。

**成果指標**

指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
消費生活相談件数	消費生活相談員が受ける相談等の件数(目標値の設定は、事業内容上適当でないため実績値のみ記載)		件	
各種消費生活講座及び出前講座等受講者数	消費者として必要な知識を身に付け、自立した消費者を育成できる。	令和4年度	人	20,000

**事業内容**

- 消費生活相談等の実施  
 市民からの消費生活に関する苦情や相談等に対し、情報提供、助言、あっせんを行う。  
 ・令和2年度 消費生活相談 2,245件  
 ・令和3年度 消費生活相談 1,943件  
 ・令和4年度(見込み) 消費生活相談 2,100件
- 各種消費生活講座・啓発イベントの実施  
 消費者としての自立を支援するため、市民に対し消費者月間記念講演会などの各種啓発事業を実施する。  
 ・令和2年度 消費者セミナーほか 受講者 計80人  
 ・令和3年度 消費者セミナーほか 受講者 計53人  
 ・令和4年度(見込み) 消費者セミナーほか 受講者 計60人
- 消費者生活情報等の発信  
 コープこうべの宅配弁当に消費者生活啓発チラシを添付して情報提供を行うほか、新聞に被害発生事例等の記事を掲載する。  
 ・令和2年度 広報あかし: 月1回、コープ: 年6回、新聞: 神戸(年1回)、毎日(年1回)  
 ・令和3年度 コープ: 年6回、新聞: 神戸(年1回)、毎日(年1回)  
 ・令和4年度(見込み) コープ: 年6回、新聞: 神戸(年1回)、毎日(年1回)
- 消費者被害の未然防止のための消費者教育  
 児童・生徒等に対する金銭教育やインターネットを安全に使うための講座、及び高齢者等に対する消費生活啓発員や消費生活相談員などによる出前講座を実施する。  
 ・令和2年度 金銭: 3校/3回、 ネット: 24校/35回  
 ・令和3年度 金銭: 5校/22回、 ネット: 39校/64回  
 ・令和4年度(見込み) 金銭: 5校/22回、 ネット: 43校/77回、 出前講座8回

SDGs(17の目標)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
											○					

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和4年度 人員配置(人)							
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
02決算	4,813	26,515	31,328	762	0	0	30,566	正規	1.10	7/11	0.10				
03当初予算	6,807	24,919	31,726	995	0	0	30,731								
03決算	4,778	24,919	29,697	1,489	0	0	28,208					再任用	0.00	その他	0.00
04当初予算	5,092	19,430	24,522	1,797	0	0	22,725					任期付	6.40	合計	7.60

区分(節)	内容	金額	令和4年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
報償費	子どものための消費者教育出前講座講師謝礼 ほか	1,157	報償費	子どものための消費者教育出前講座講師謝礼 ほか	1,600	
旅費	消費生活相談員研修 ほか	139	旅費	近畿ブロック消費生活センター連絡会議 ほか	245	
需用費	消耗品費	976	需用費	消耗品費	900	
委託料	消費生活啓発事業委託料	220	委託料	消費生活啓発事業委託料	220	
その他	役員費、使用料及び賃借料、備品購入費、負担金、補助金	983	その他	役員費、使用料及び賃借料、備品購入費、負担金、補助金	715	
<b>合計</b>		<b>4,778</b>		<b>合計</b>		<b>5,092</b>

# 令和4年度 事務事業点検シート

整理番号	0107300000-008	事務事業名	消費生活対策事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			2年度	3年度	4年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	消費生活相談件数	消費生活相談員が受ける相談等の件数(目標値の設定は、事業内容上適当でないため実績値のみ記載)			2,245	1,943	2,100
		件					
	各種消費生活講座及び出前講座等受講者数	消費者として必要な知識を身に付け、自立した消費者を育成できる。			9,831	19,163	20,000
		令和4年度	人	20,000			
<b>指標で表せない成果</b>							
消費生活相談により市民の消費者被害の未然防止や救済が図られる。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
消費者を取り巻く環境は、商品やサービスの多様化や取引形態の複雑化により大きく変化しており、さらに、2022年4月に改正民法が施行され、成年年齢の引き下げに伴った若年層の消費者被害増加も懸念されることから、更なる消費者教育・啓発の推進に取り組む。また、複雑多様化する消費者被害に対応できるよう、消費生活相談員のより一層のレベルアップを図る。						



# 令和4年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	庁舎建設基金積立金			<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0107400000 - 001			
				<b>分割/統合</b>						
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計			<b>事業の分割/統合の内容</b>					
	<b>款</b>	総務費				<b>事業所管課</b>	政策局企画・調整室			
	<b>項</b>	総務管理費			<b>連絡先</b>	(078)918-5283				
	<b>目</b>	財産管理費			<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	平成 18 年度		
	<b>事業</b>	庁舎建設基金積立金			<b>根拠法令・要綱等</b>	明石市庁舎建設基金条例				
<b>施策分野</b>	6 行政経営分野			<b>実施方法</b>		直営	<input type="radio"/>	補助・助成		その他
	6-5 健全財政の推進				委託		指定管理			
<b>個別計画</b>										

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	市役所の新庁舎建設に備えて、建設費用を積み立てる。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
	基金残高	庁舎建設時に必要となる一般財源を確保するため、これまで積み立てた庁舎建設基金を適切に運用し、管理する。	庁舎建替年度	億円	16
<b>事業内容</b>	これまで積み立てた庁舎建設基金の運用管理を実施する。				
	<p>平成18年度 1億円を積立</p> <p>平成19年度 運用管理のみ実施</p> <p>平成20年度 1億円を積立</p> <p>平成21年度～平成23年度 運用管理のみ実施</p> <p>平成24年度～平成25年度 各年度3億円を積立</p> <p>平成26年度～平成27年度 各年度4億円を積立（積立金 計16億円）</p> <p>平成28年度～令和 3年度 運用管理のみ実施</p> <p>令和4年度 引き続き運用管理を実施する。</p>				

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
										○						

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和4年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
02決算	65	1,215	1,280	0	0	65	1,215	正規	0.20	アルバイト	0.00
03当初予算	500	990	1,490	0	0	500	990		再任用	0.00	その他
03決算	14	990	1,004	0	0	14	990	任期付	0.00	合計	0.20
04当初予算	500	1,620	2,120	0	0	500	1,620				

<b>令和3年度決算事業費明細</b>	<b>区分(節)</b>	<b>内容</b>	<b>金額</b>	<b>令和4年度当初予算事業費明細</b>	<b>区分(節)</b>	<b>内容</b>	<b>金額</b>
	積立金	庁舎建設基金積立金運用益	14		積立金	庁舎建設基金積立金運用益	500
		<b>合計</b>			14		<b>合計</b>

# 令和4年度 事務事業点検シート

整理番号	0107400000-001	事務事業名	庁舎建設基金積立金
------	----------------	-------	-----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			2年度	3年度	4年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	基金残高	庁舎建設時に必要となる一般財源を確保するため、これまで積み立てた庁舎建設基金を適切に運用し、管理する。			16	16	16
		庁舎建替年度	億円	16			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						

# 令和4年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	市政の企画、調査事務		新規/継続	継続事業	整理番号	0107400000 - 002	
			分割/統合				
<b>関連予算科目</b>	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費	事業所管課	政策局企画・調整室			
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5010			
	目	企画費	自治/法定	自治事務	開始年度	不明	
	事業	企画・調査事務事業	根拠法令・要綱等	地方自治法第1条の2			
<b>施策分野</b>	6 行政経営分野		<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	その他
	6-2 自立した地方行政の推進			委託		指定管理	
<b>個別計画</b>							

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	社会経済情勢や市民ニーズの変化など、市政を取り巻く状況を的確に把握した上で、新規施策の企画や総合調整を行うことで、広範にわたる行政課題を解決する。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
<b>事業内容</b>	(1) 新規・重要施策の企画調整 市政の計画的かつ効果的な推進を図るため、市長等と協議の上、各局の主な課題に対する取組方針や新規・重点施策の方向性を早期に決定し、予算に的確に反映する。				
	(2) 総合教育会議の開催 市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域教育の課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政を推進するため、総合教育会議を開催する。(令和2年度:1回開催、令和3年度:2回開催)				

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和4年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
02決算	7,069	86,400	93,469	500	0	0	92,969	正規	3.80	771	0.00
03当初予算	8,690	50,760	59,450	0	0	1	59,449		再任用	0.00	その他
03決算	4,525	50,760	55,285	0	0	0	55,285	任期付	0.80	合計	4.60
04当初予算	5,704	32,940	38,644	0	0	1	38,643				

<b>令和3年度決算事業費明細</b>	区分(節)	内容	金額	<b>令和4年度当初予算事業費明細</b>	区分(節)	内容	金額
	報償費	委員謝礼、学識者指導等	772		報償費	学識者指導等	785
	旅費	関係機関との協議、近接地旅費等	217		旅費	先進地視察、関係機関との協議、近接地旅費等	1,290
	使用料及び賃借料	コピー使用料等	533		使用料及び賃借料	コピー使用料等	700
	役務費	官庁速報(i JAMP)情報提供料	1,584		役務費	官庁速報(i JAMP)情報提供料	1,584
	委託料	ホスタウン交流事業支援業務委託	1,119		委託料	重要施策等に係る調査委託	1,000
	その他	消耗品等、研修参加負担金等	300		その他	消耗品等、研修参加負担金等	345
	<b>合計</b>				4,525	<b>合計</b>	

# 令和4年度 事務事業点検シート

整理番号	0107400000-002	事務事業名	市政の企画、調査事務
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			2年度	3年度	4年度見込み
		目標年次	単位	目標値			

**指標で表せない成果**

各局の予算の内容を分かりやすく伝える資料をまとめ、新年度の1年間のまちづくりの方針を示し、その周知を図った。重要施策の企画調整や県下各市での共通課題の情報交換により、市政をとりまく状況を把握し、広範にわたる行政課題の解決が図られている。

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性

**現状の課題・今後の事業展開方針等**

行政各分野の施策の推進のために、企画・調査・総合調整を引き続き行っていく。  
 予算編成に向けた意見交換や庁内調整の仕組みづくりなど、より効率的な市政運営に向けた検討作業を継続して行う。

# 令和4年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	広域行政事務事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0107400000 - 003				
		<b>分割/統合</b>							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>						
	<b>款</b>	総務費							
	<b>項</b>	総務管理費	<b>事業所管課</b>	政策局企画・調整室					
	<b>目</b>	企画費	<b>連絡先</b>	(078)918-5010					
	<b>事業</b>	広域行政事務事業	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	不明			
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野		<b>根拠法令・要綱等</b>	地方自治法第1条の2、神戸市隣接市・町長懇話会規約等					
	4-6 都市間交流・国際交流の推進								
<b>個別計画</b>			<b>実施方法</b>	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>
				委託	<input type="checkbox"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	広域的な行政課題に対処するために、周辺自治体との情報交換・連携を図り、取組を進める。とりわけ、それぞれの自治体がかつ地域特性を活かした交流を通じて、お互いの地域の魅力を再発見し、まちの活性化につなげる。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
<b>事業内容</b>	(1) 神戸隣接市・町長懇話会 神戸市と神戸市に隣接する8市町の首長が広域的な行政課題について情報及び意見の交換を行う。(懇話会年1回、幹事会年3回程度)				
	(2) 東播磨流域文化協議会 東播磨地域における地域活性化事業等に関する市民団体への助成や情報交換、意見交換等を行う。(総会1回、担当課長会2回)				
	(3) 播磨広域連携協議会 「はりま酒文化ツーリズム」等の事業により全国に播磨地域の情報発信を行う。(総会1回、広域連携協議会2回)				
	(4) 養父市 交流協定に基づき、市民主体の相互交流の促進に向けた取組を行う。				
	(5) 明石市・神戸市企画担当連絡会議 神戸市との共通課題の解決に向けて、情報の共有と今後の取組方針の総合調整を行う。(連絡会議年1回程度)				

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
																○

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和4年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
02決算	707	4,860	5,567	0	0	0	5,567	正規	1.20	77.14	0.00
03当初予算	862	7,290	8,152	0	0	0	8,152		再任用	0.00	その他
03決算	738	7,290	8,028	0	0	0	8,028	任期付	0.00	合計	1.20
04当初予算	1,741	9,720	11,461	0	0	0	11,461				

<b>令和3年度決算事業費明細</b>	区分(節)	内容	金額	<b>令和4年度当初予算事業費明細</b>	区分(節)	内容	金額
	旅費	近接地旅費	1		旅費	近接地旅費	10
	需用費	消耗品費等	30		需用費	消耗品費等	10
	負担金補助及び交付金	各種広域交流協議会等負担金	707		負担金補助及び交付金	各種広域交流協議会等負担金	1,721
	<b>合計</b>		738		<b>合計</b>		1,741

# 令和4年度 事務事業点検シート

整理番号	0107400000-003	事務事業名	広域行政事務事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			2年度	3年度	4年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
<b>指標で表せない成果</b>							
懇話会などの開催を通して、市域を超えた行政課題について周辺自治体と共通認識を持ち、課題解決に向けて取組を進めた。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
広範にわたる行政課題の解決には、周辺他都市との連携が不可欠であると認識している。よって、首長や実務レベルによる懇談の機会を通じて、周辺自治体と情報共有を図りながら、共通課題を認識し、課題の解決に向けて連携して取り組む。						



# 令和4年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	ユニバーサルデザインのまちづくり事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0107400000 - 004			
		<b>分割/統合</b>						
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>					
	<b>款</b>	総務費						
	<b>項</b>	総務管理費	<b>事業所管課</b>	政策局企画・調整室				
	<b>目</b>	企画費	<b>連絡先</b>	(078)918-5283				
	<b>事業</b>	ユニバーサルデザインのまちづくり事業	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	平成 30 年度		
<b>施策分野</b>	5 都市基盤整備分野		<b>根拠法令・要綱等</b>	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律				
	5-1 良好な都市環境の整備			<b>実施方法</b>	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>
<b>個別計画</b>			委託		<input type="checkbox"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>	

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	共生社会の実現に向けて、年齢や障害の有無にかかわらず、様々な市民の視点に立って、誰もが安全で快適に移動することができる、ユニバーサルデザインのまちづくりの取組を推進する。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
	協議会の開催回数	ユニバーサルデザインのまちづくりに向けた協議・連絡調整を図るための「ユニバーサルデザインのまちづくり協議会」の開催回数	令和4年度	回	2
<b>事業内容</b>	【令和2年度及び令和3年度】 協議会での検討や現地調査を踏まえながら、特にバリアフリー化が必要な地区で核となるハード事業の具体的な調整が可能な地区について、具体的な事業内容等を定める基本構想「明石市ユニバーサルデザインのまちづくり実行計画（基本構想編）」を策定する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響による社会経済情勢や今後の社会全体のあり方を踏まえた丁寧かつ十分な検討が必要なため、令和4年度に延期した。				
	【令和4年度】 ・協議会を開催し、ユニバーサルデザインのまちづくりに向けた取組についての協議・連絡調整を行う（令和4年度は協議会を2回開催予定）。 ・令和4年4月1日に施行したあかしンクルーシブ条例等を踏まえ、「明石市ユニバーサルデザインのまちづくり実行計画（マスタープラン編）」を見直し改定する。 ・実行計画（マスタープラン編）を踏まえ、特にバリアフリー化が必要な地区で、核となるハード事業の具体的な調整が可能な地区について、事業内容やスケジュールを定めた「明石市ユニバーサルデザインのまちづくり実行計画（基本構想編）」で重点整備地区に位置付け、具体的な取組を推進する。				

SDGs (17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		○					○	○		○						○

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和4年度 人員配置 (人)									
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源										
02決算	0	0	0	0	0	0	0										
03当初予算	0	0	0	0	0	0	0							正規	1.50	アルバイト	0.00
03決算	0	0	0	0	0	0	0							再任用	1.00	その他	0.00
04当初予算	8,002	16,020	24,022	3,785	0	0	20,237	任期付	0.10	合計	2.60						

令和3年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和4年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
					報酬	ユニバーサルデザインのまちづくり協議会委員報酬	620
					報償費	ワークショップ(まちあるき等)参加者への謝礼等	450
					旅費	協議会委員の旅費等	200
					委託料	計画策定支援業務委託料	6,500
					使用料及び賃借料	会場使用料	22
					その他	筆耕翻訳料等	210
	<b>合計</b>		0		<b>合計</b>		8,002

# 令和4年度 事務事業点検シート

整理番号	0107400000-004	事務事業名	ユニバーサルデザインのまちづくり事業
------	----------------	-------	--------------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			2年度	3年度	4年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	協議会の開催回数	ユニバーサルデザインのまちづくりに向けた協議・連絡調整を図るための「ユニバーサルデザインのまちづくり協議会」の開催回数			0	0	2
		令和4年度	回	2			
<b>指標で表せない成果</b>							
・「ユニバーサルデザインのまちづくり協議会」において協議を重ねた結果、明石駅周辺において、先行的・重点的にユニバーサルデザイン化を進める「明石市ユニバーサルデザインのまちづくり重点モデル地区実行計画」を平成31年3月に策定した。 ・全市的に取組を進めるため、基本理念や取組方針、バリアフリー化の優先的促進が必要な地区等を定める「明石市ユニバーサルデザインのまちづくり実行計画(マスタープラン編)」を令和2年3月に策定した。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
・協議会での検討や現地調査を踏まえながら、特にバリアフリー化が必要な地区で核となるハード事業の具体的な調整が可能な地区について、具体的な事業内容等を定める基本構想「明石市ユニバーサルデザインのまちづくり実行計画(基本構想編)」を策定する。						

# 令和4年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	SDGs推進事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0107400000 - 005				
		<b>分割/統合</b>							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>						
	<b>款</b>	総務費		<b>事業所管課</b>	政策局企画・調整室				
	<b>項</b>	総務管理費	<b>連絡先</b>		(078)918-5010				
	<b>目</b>	企画費		<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	平成 23 年度		
	<b>事業</b>	SDGs推進事業							
<b>施策分野</b>	6 行政経営分野		<b>根拠法令・要綱等</b>	地方自治法第1条の2、明石市自治基本条例第26条、明石市市民参画条例第6条の2					
	6-2 自立した地方行政の推進			<b>実施方法</b>	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他
<b>個別計画</b>			委託		<input type="checkbox"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		

**目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）**  
 2030年のあるべき姿を「SDGs未来安心都市・明石～いつまでも すべての人に やさしいまちを みんなで～」として定め、暮らしの質を重視したまちづくりを加速させ、市民満足度を更に高め、将来にわたり、誰もが安心して住みたい、住み続けたいと思うまちの実現を目指す。

**成果指標**

指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
明石のまちの住みやすさ	住みやすいと思う人の割合	2030	%	100
総人口	国勢調査推計人口(各年10月1日時点)	2030	万人	30

**事業内容**

(1) パートナーシップによる取組の推進(市民、学校、事業者など)  
 ①あかしSDGsパートナーズ制度の拡充(2021年4月開始 139団体登録、セミナーや交流会の実施)  
 ②SDGs推進助成金制度の創設(対象:SDGsパートナーズ登録団体、上限100万円、17事業 応募:35事業)  
 ③SDGsの周知・啓発(市民や学校を対象としたリーフレットの配布、団体向けの出前講座の実施など)  
 ④コープこうべとの包括連携協定に基づく取組(高齢者の買い物支援や認知症の見守り支援など)

(2) あかしSDGs推進計画(明石市第6次長期総合計画)及びあかしSDGs前期戦略計画(明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略(第2期)の推進)  
 ①あかしSDGs推進審議会を活用した効果検証  
 ・推進計画及び前期戦略計画に基づく施策展開の確認  
 ・推進計画及び前期戦略計画の検証方法の検討  
 ・地方創生関係交付金の効果検証  
 ②実行計画の策定

(3) 明石市SDGs未来都市計画の推進  
 SDGsの達成に向けて優れた取組を行う自治体として、2020年度に国から県内初となる「SDGs未来都市」に選定された際に策定した、SDGs未来都市計画の推進  
 ・第1期計画(2020～2022年度)の進捗管理  
 ・第2期計画(2023～2025年度)の策定(2023年3月予定)

SDGs(17の目標)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和4年度 人員配置(人)							
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
02決算	1,421	22,140	23,561	300	0	0	23,261	正規	3.20	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00				
03当初予算	6,045	34,290	40,335	0	0	0	40,335								
03決算	2,166	34,290	36,456	184	0	0	36,272					再任用	0.00	その他	0.00
04当初予算	20,281	26,460	46,741	0	0	0	46,741					任期付	0.20	合計	3.40

区分(節)	内容	金額	令和4年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
報償費	意見交換会委員報償	346	報償費	SDGsセミナー等謝礼、SDGs推進助成金選考委員謝礼	490	
需用費	啓発用印刷物、消耗品費等	527	需用費	啓発用印刷物、消耗品費等	300	
委託料	次期総合計画に向けた若者とのワークショップ運営業務委託等	530	委託料	普及啓発業務等	1,800	
役務費	広告料	17	負担金補助及び交付金	SDGs推進助成金	17,000	
			その他	審議会等会場使用料、広告料等	100	
<b>合計</b>		2,166		<b>合計</b>		20,281

# 令和4年度 事務事業点検シート

整理番号	0107400000-005	事務事業名	SDGs推進事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			2年度	3年度	4年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	明石のまちの 住みやすさ	住みやすいと思う人の割合			-	-	-
		2030	%	100			
	総人口	国勢調査推計人口(各年10月1日時点)			303,601	303,823	-
		2030	万人	30			
<b>指標で表せない成果</b>							
SDGsに関するリーフレットの配布、パートナーズ制度の拡充、SDGs推進助成金制度の創設など、SDGsの周知・啓発及び取組の経済的支援を行うことによって明石市内の市民、学校、事業者などがSDGsについて知り、行動できるよう幅広い支援を行った。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該事業は、自治基本条例に基づき、市のまちづくりの指針であるあかしSDGs推進計画(明石市第6次長期総合計画)を策定・推進するものであり、市政運営上欠かせない。</li> <li>・地域・市民団体・教育機関・事業者等とのパートナーシップにより、同計画の着実な推進を図っていく。</li> </ul>						

# 令和4年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	都市開発一般事務事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0107400000 - 006		
			分割/統合					
<b>関連予算科目</b>	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	総務費						
	項	総務管理費	事業所管課	政策局企画・調整室				
	目	企画費	連絡先	(078)918-5283				
	事業	都市開発一般事務事業	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 29 年度		
<b>施策分野</b>	5 都市基盤整備分野		根拠法令・要綱等	地方自治法第1条の2				
	5-1 良好な都市環境の整備			実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>
<b>個別計画</b>	都市計画マスタープラン		委託		<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>	

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	持続可能なまちづくりに向け、市民の安全と快適な暮らしを支える都市空間づくりや市内全域の均衡のとれたまちづくりを進めるための総合的な企画・調整を行う。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
<b>事業内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくり施策の企画調整 重要な開発事業、都市計画方針などの企画及び総合調整を行う。 市内全域の均衡ある発展に向けた検討及び企画調整を行う。</li> </ul>				
	【令和2年度】				
	・旧あかねが丘学園跡地について、公募型プロポーザル方式にて民間事業者売却した。				
	【令和3年度】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>市内各地域の資源、特性などを踏まえた立地適正化計画や具体的事業についての検討を行った。</li> <li>大久保北部エリアの市有地について、スマートICの設置を含む利活用の可能性について調査検討を行った。</li> </ul>					
【令和4年度】					
<ul style="list-style-type: none"> <li>市内全域の均衡ある発展に向けた事業の推進を図るため、立地適正化計画の策定に取り組む。</li> <li>大久保北部エリアの市有地について、スマートICの設置も含め、利活用の可能性について調査検討を行う。</li> </ul>					

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		○				○		○	○	○		○				○

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和4年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
02決算	31,872	34,695	66,567	0	0	0	66,567	正規	3.15	77.14	0.00
03当初予算	8,996	38,130	47,126	0	0	0	47,126				
03決算	3,383	38,130	41,513	0	0	0	41,513	再任用	0.00	その他	0.00
04当初予算	26,115	27,135	53,250	4,000	0	0	49,250	任期付	0.60	合計	3.75

令和3年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和4年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	学識経験者謝礼	30		報償費	学識経験者謝礼	40
旅費	視察等旅費	58	旅費	視察等旅費	450		
需用費	消耗品費等	300	需用費	消耗品費等	310		
委託料	立地適正化計画作成支援業務委託、中心市街地歩行者・自動車通行量調査業務委託等	2,773	委託料	大久保北部利活用検討業務委託、立地適正化計画策定支援業務委託等	25,000		
その他	コピー使用料等	135	その他	コピー使用料等	216		
負担金補助及び交付金	研修会参加費	87	負担金補助及び交付金	研修会参加費	99		
<b>合計</b>			<b>3,383</b>	<b>合計</b>			<b>26,115</b>

# 令和4年度 事務事業点検シート

整理番号	0107400000-006	事務事業名	都市開発一般事務事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			2年度	3年度	4年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
・市内各地域の資源と特性を踏まえたまちづくりについての総合的な企画・調整を行っていく。						



# 令和4年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	市役所新庁舎建設事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0107400000 - 007				
		<b>分割/統合</b>							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>						
	<b>款</b>	総務費							
	<b>項</b>	総務管理費	<b>事業所管課</b>	政策局企画・調整室					
	<b>目</b>	企画費	<b>連絡先</b>	(078)918-5283					
	<b>事業</b>	市役所新庁舎建設事業	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	平成 28 年度			
<b>施策分野</b>	5 都市基盤整備分野		<b>根拠法令・要綱等</b>						
	5-1 良好な都市環境の整備								
<b>個別計画</b>	市役所新庁舎建設基本計画		<b>実施方法</b>	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>
				委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>								
	1970年(昭和45年)に竣工した現市役所庁舎について、老朽化や耐震性不足への対応はもとより、市民サービスの向上や防災機能の強化、バリアフリー・ユニバーサルデザインの導入を図るため、建替えに向けた取組を行う。								
	<b>成果指標</b>								
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>				
<b>事業内容</b>	【令和2年度】								
	・基本・実施設計について、公募型プロポーザル方式にて設計者を選定して設計業務に着手し、基本設計(素案)を作成								
	・設計業務と並行し、窓ロレイアウトの策定や執務環境の整備に関する支援業務(空間整備支援業務)について、公募型プロポーザル方式にて事業者選定を行い、市民サービスの向上を図りながら、コンパクト化する新庁舎において職員が効率的に執務できる環境を検討								
	・既に国の財政支援メニューの要件を満たしていること及び市民参画を十分に行う必要があることから、基本設計の完了を1年延期								
	【令和3年度】								
	・令和2年度に引き続き、設計業務及び空間整備支援業務に取り組み、新庁舎整備に向けた検討を行った。								
	・県による高潮浸水想定の見直し及び隣接する明石港東外港地区を含めた一体的な活用の模索により、基本設計の完了をさらに1年延期した。								
	【令和4年度】								
	・隣接する明石港東外港地区再開発との連携を図りながら、設計業務及び空間整備支援業務に取り組み、市町村役場機能緊急保全事業の適用ができるよう、基本設計を完了する。								

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		○				○		○	○	○						○

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和4年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
02決算	21,895	48,795	70,690	0	19,300	0	51,390	正規	4.25	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
03当初予算	164,912	24,300	189,212	0	147,900	16,522	24,790				
03決算	11,145	24,300	35,445	0	9,900	0	25,545	再任用	1.00	その他	0.00
04当初予算	1,968	40,695	42,663	0	0	0	42,663	任期付	0.10	合計	5.35

<b>令和3年度決算事業費明細</b>	<b>区分(節)</b>	<b>内容</b>	<b>金額</b>	<b>令和4年度当初予算事業費明細</b>	<b>区分(節)</b>	<b>内容</b>	<b>金額</b>
	旅費	視察等旅費	9		旅費	視察等旅費	250
	需用費	消耗品費	50		需用費	消耗品費	50
	委託料	明石市役所新庁舎建設設計業務委託	11,000		役務費	鑑定手数料	1,518
	使用料及び賃借料	コピー使用料	86		委託料	基本設計概要版(音声版・点字版)作成業務委託等	60
					使用料及び賃借料	コピー使用料	90
		<b>合計</b>			11,145		<b>合計</b>

# 令和4年度 事務事業点検シート

整理番号	0107400000-007	事務事業名	市役所新庁舎建設事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			2年度	3年度	4年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>・令和2年度中の基本設計完了、令和3年度中の実施設計完了を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響による市民説明会中止、県による高潮浸水想定の見直し及び隣接する明石港東外港地区を含めた一体的な活用の模索により、基本設計の完了を令和4年度に延期した。今後は、令和4年度中の基本設計完了、令和5年度中の実施設計完了に向け、市民説明会やパブリックコメントを実施し、市民意見を踏まえて設計に取り組む。</p>						

# 令和4年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b> JT跡地等活用事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0107400000 - 008											
		分割/統合														
		事業の分割/統合の内容														
<b>関連予算科目</b>	会計	一般会計														
	款	総務費														
	項	総務管理費														
	目	企画費														
	事業	JT跡地等活用事業														
<b>施策分野</b>		5 都市基盤整備分野		根拠法令・要綱等 公有地の拡大の推進に関する法律												
		5-5 住環境の充実														
<b>個別計画</b>		都市計画マスタープラン														
<b>実施方法</b>																
			直営	○	補助・助成											
			委託	○	指定管理											
<b>自治/法定</b>																
			自治事務		開始年度	平成 29 年度										
<b>事業の目的・目標</b>																
目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）																
JT跡地において、周辺と調和のとれたまちづくりを行うため、民間事業者による良質なマンション建設等の促進を図るとともに、市民の利便に資する公共公益施設の整備に向けた検討を行う。																
<b>成果指標</b>																
指標名		考え方・定義・式				目標年次	単位	目標値								
<b>事業内容</b>																
【令和2年度】 ・民間活用用地について、民間事業者による周辺と調和のとれた住環境の整備が行われるなか、公共公益施設用地の一部をモデルルーム等の用地として貸し出した。																
【令和3年度】 ・JT跡地北側の民有地の取得に合わせて、歩行者用通路の整備を行った。 ・公共公益施設用地の管理を行うとともに、用地の有効活用に向けた検討を行った。																
【令和4年度】 ・引き続き公共公益施設用地の管理を行うとともに、用地の有効活用に向けた検討を行う。																
SDGs (17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		○						○	○	○						○
<b>事業のコスト (単位：千円)</b>		<b>事業費</b>	<b>人件費 (参考値)</b>	<b>総事業費 (参考値)</b>	<b>財源内訳</b>				<b>令和4年度 人員配置 (人)</b>							
					国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源			正規	アルバイト				
02決算		34	14,445	14,479	0	0	4,544	9,935								
03当初予算		1,600	18,900	20,500	0	0	11,980	8,520	再任用	0.00	その他	0.00				
03決算		487	18,900	19,387	0	0	15,919	3,468	任期付	0.10	合計	1.55				
04当初予算		21,640	12,015	33,655	20,000	0	11,980	1,675								
<b>令和3年度決算事業費明細</b>	区分(節)	内容		金額	<b>令和4年度当初予算事業費明細</b>	区分(節)	内容		金額							
	旅費	視察等旅費		1		報償費	学識経験者謝礼		40							
	需用費	消耗品費等		486		旅費	視察等旅費		100							
						需用費	JT跡地万能堀修繕料		500							
						委託料	JT跡地の有効活用に係る検討業務委託、JT跡地除草業務委託		21,000							
<b>合計</b>				487	<b>合計</b>				21,640							

# 令和4年度 事務事業点検シート

整理番号	0107400000-008	事務事業名	JT跡地等活用事業
------	----------------	-------	-----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			2年度	3年度	4年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・JT跡地の開発事業者と締結した基本協定に基づき、周辺と調和のとれたまちづくりの実現に向け、開発事業者及び庁内の開発関連部署と協議・調整を進める。</li> <li>・公共公益施設用地(約15,000㎡)の活用について検討を進める。</li> </ul>						

# 令和4年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	西明石活性化プロジェクト事業		<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0107400000 - 009			
			<b>分割/統合</b>						
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>						
	<b>款</b>	総務費							
	<b>項</b>	総務管理費	<b>事業所管課</b>	政策局企画・調整室					
	<b>目</b>	企画費	<b>連絡先</b>	(078)918-5283					
	<b>事業</b>	西明石活性化プロジェクト事業	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	平成 23 年度			
<b>施策分野</b>	5 都市基盤整備分野		<b>根拠法令・要綱等</b>						
	5-1 良好な都市環境の整備								
<b>個別計画</b>	都市計画マスタープラン		<b>実施方法</b>	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>
				委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>								
	西明石活性化プロジェクト協議会でとりまとめられた「まちづくりの姿」における西明石地域のまちづくりの課題の解決を図るため、西明石地域の活性化につながる取り組みを推進する。								
	<b>成果指標</b>								
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>				
<b>事業内容</b>	【令和2年度】 ・旧国鉄清算事業団用地及びJR西明石社宅用地等の開発を含めたエリア全体のまちづくりについて、JR西日本と連携しながら検討を行った。 ・令和2年12月24日、「西明石駅及び駅周辺におけるまちづくりの推進に関する協定」を締結し、JR西日本との連携を強化した。 ・駅前広場及び周辺道路の整備に必要な都市計画変更の検討を行った。								
	【令和3年度】 ・地域共通の最優先課題である駅及び駅周辺の安全性・利便性の向上や地域の活性化を図るため、JR西日本と検討を行った。 ・駅前広場及び周辺道路の整備、用途地域などの都市計画変更に向けた計画検討を行うとともに、関係権利者との調整や関係機関との協議を行った。								
	【令和4年度】 ・令和4年4月17日、「西明石駅及び駅周辺のまちづくり」に関する地域説明会を実施した。 ・駅前広場及び周辺道路、用途地域などの都市計画変更手続きを進める。 ・サンライフ明石の建替えに伴い整備する地域交流拠点に必要な機能、旧国鉄清算事業団用地の活用方法について検討を行う。								

SDGs (17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		○						○	○	○						○

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和4年度 人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
02決算	11,893	16,065	27,958	0	0	0	27,958	正規	3.45	アルバイト	0.00
03当初予算	21,600	24,570	46,170	0	20,000	0	26,170				
03決算	43	24,570	24,613	0	0	0	24,613	再任用	0.00	その他	0.00
04当初予算	22,140	28,215	50,355	0	20,000	0	30,355	任期付	0.10	合計	3.55

<b>令和3年度決算事業費明細</b>	<b>区分(節)</b>	<b>内容</b>	<b>金額</b>	<b>令和4年度当初予算事業費明細</b>	<b>区分(節)</b>	<b>内容</b>	<b>金額</b>
	旅費	視察等旅費	43		旅費	視察等旅費	200
					役務費	土地鑑定手数料	1,940
					委託料	地域交流拠点の機能検討及び旧国鉄清算事業団用地の活用検討業務	20,000
		<b>合計</b>			43		<b>合計</b>

# 令和4年度 事務事業点検シート

整理番号	0107400000-009	事務事業名	西明石活性化プロジェクト事業
------	----------------	-------	----------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			2年度	3年度	4年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・西明石駅は新幹線・新快速が停まる主要駅でありながら、駅及び駅周辺の利便性等課題が多い。また、西明石地域の活性化に対する市民ニーズも高く、課題解決に向けた取り組みを進める必要がある。</li> <li>・「まちづくりの姿」でとりまとめられた地域共通の最優先課題解決のため、駅周辺の安全性、利便性の向上、地域交流拠点の整備について、JR西日本と連携しながら検討を進める。</li> <li>・最優先課題以外の課題についても、引き続き解決に向けた検討を進める。</li> </ul>						

# 令和4年度 事務事業点検シート

事務事業名		大蔵海岸民活施設用地管理事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0107400000 - 010																																					
				分割/統合																																								
関連予算科目	会計	一般会計		事業の分割/統合の内容																																								
	款	土木費		事業所管課	政策局企画・調整室																																							
	項	土木管理費		連絡先	(078)918-5010																																							
	目	海岸海域整備事業対策費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 29 年度																																					
	事業	大蔵海岸民活施設用地管理事業		根拠法令・要綱等	大蔵海岸通地区地区計画																																							
施策分野		3 産業・観光分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他																																				
		3-4 観光の振興			委託		指定管理																																					
個別計画																																												
事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）																																											
	条件付売却を実施した大蔵海岸民活施設用地（A1～3区画・B区画）について、民間企業の誘致により、市民が憩うにぎわいの空間を創出するとともに、安定した賃貸収入を確保して同用地の管理を行う。																																											
	成果指標																																											
	指標名	考え方・定義・式			目標年次	単位	目標値																																					
	基金残高	賃貸収入からリース料を差し引いた余剰金を、大蔵海岸民活施設用地管理基金に積み立てる。事業者の継続的な来店により、にぎわいの創出と安定した積立てを行う。			2052(R34)年度	千円	660,000																																					
事業内容	<p>◆大蔵海岸民活施設用地（A1～3区画・B区画）は、企業会計が造成し、賃貸で運営していたが、平成29年10月31日付で売却と同時にリースする条件付売却を実施した。リース契約は本事業で一般会計が引き継いでおり、企業会計は平成29年度末で廃止した。</p> <p>◆リース料（固定資産税・都市計画税相当分を除く）は、事業者からの賃貸収入で賄う。</p> <p>◆事業の安定化等に向けて、賃貸収入からリース料を差し引いた余剰金を基金に積み立てる。</p> <p>&lt;リース内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・契約相手方：MULプロパティ株式会社</li> <li>・期間：2017(H29).10.31～2052(R34).10.30</li> <li>・年間リース料             <ul style="list-style-type: none"> <li>～2022(R4).9 224,400,000円</li> <li>2022(R4).10～ 256,800,000円 ※2022年度は240,600,000円</li> <li>2037(R19).10～ 230,400,000円</li> </ul> </li> <li>※上記リース料に固定資産税及び都市計画税相当分を上乗せして支払う。</li> <li>・最終リース料             <ul style="list-style-type: none"> <li>2052(R34).10.31 3,563,800,000円</li> <li>※最終リース料を支払い、民活施設用地を取得する。取得と同時期に民間事業者に売却することで、財源を確保する。</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;転貸状況&gt;</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区画</th> <th>面積</th> <th>賃貸期間</th> <th>賃料(年額)</th> <th>事業者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A1</td> <td>9,361.67㎡</td> <td>(2002(H14).5.25～2042(R24).9.30※契約更新:2022.5.25)</td> <td>57,643,723円</td> <td>アクトス(スポーツ施設)</td> </tr> <tr> <td>A2</td> <td>7,064.27㎡</td> <td>(2002(H14).9.25～2042(R24).9.30※契約更新:2022.9.25)</td> <td>40,012,021円</td> <td>イズミ産業(温浴施設)</td> </tr> <tr> <td>A3</td> <td>10,537.42㎡</td> <td>(2010(H22).6.1～2042(R24).9.30※契約更新:2022.9.25)</td> <td>59,683,943円</td> <td>エー・ビー・シー開発(住宅展示場)</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>15,892.53㎡</td> <td>(2018(H30).1.14～2038(R20).3.31)</td> <td>95,355,180円</td> <td>アルペン(スポーツ用品販売)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>42,855.89㎡</td> <td></td> <td>252,694,867円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◆大蔵海岸西駐車場の一部については、当該用地の利活用に向けて、企業誘致の再公募の検討を進めているが、新型コロナウイルス感染症による社会経済情勢の動向を十分に注視のうえ、企業誘致の再公募のタイミングを判断する。</p>										区画	面積	賃貸期間	賃料(年額)	事業者	A1	9,361.67㎡	(2002(H14).5.25～2042(R24).9.30※契約更新:2022.5.25)	57,643,723円	アクトス(スポーツ施設)	A2	7,064.27㎡	(2002(H14).9.25～2042(R24).9.30※契約更新:2022.9.25)	40,012,021円	イズミ産業(温浴施設)	A3	10,537.42㎡	(2010(H22).6.1～2042(R24).9.30※契約更新:2022.9.25)	59,683,943円	エー・ビー・シー開発(住宅展示場)	B	15,892.53㎡	(2018(H30).1.14～2038(R20).3.31)	95,355,180円	アルペン(スポーツ用品販売)	計	42,855.89㎡		252,694,867円					
	区画	面積	賃貸期間	賃料(年額)	事業者																																							
A1	9,361.67㎡	(2002(H14).5.25～2042(R24).9.30※契約更新:2022.5.25)	57,643,723円	アクトス(スポーツ施設)																																								
A2	7,064.27㎡	(2002(H14).9.25～2042(R24).9.30※契約更新:2022.9.25)	40,012,021円	イズミ産業(温浴施設)																																								
A3	10,537.42㎡	(2010(H22).6.1～2042(R24).9.30※契約更新:2022.9.25)	59,683,943円	エー・ビー・シー開発(住宅展示場)																																								
B	15,892.53㎡	(2018(H30).1.14～2038(R20).3.31)	95,355,180円	アルペン(スポーツ用品販売)																																								
計	42,855.89㎡		252,694,867円																																									
SDGs(17の目標)																																												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">①</td> <td style="width: 10%;">②</td> <td style="width: 10%;">③</td> <td style="width: 10%;">④</td> <td style="width: 10%;">⑤</td> <td style="width: 10%;">⑥</td> <td style="width: 10%;">⑦</td> <td style="width: 10%;">⑧</td> <td style="width: 10%;">⑨</td> <td style="width: 10%;">⑩</td> <td style="width: 10%;">⑪</td> <td style="width: 10%;">⑫</td> <td style="width: 10%;">⑬</td> <td style="width: 10%;">⑭</td> <td style="width: 10%;">⑮</td> <td style="width: 10%;">⑯</td> <td style="width: 10%;">⑰</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>											①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰											○						○
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰																												
										○						○																												
事業のコスト(単位：千円)	事業費	人件費(参考値)	総事業費(参考値)	財源内訳				令和4年度 人員配置(人)																																				
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源																																					
	02決算	255,845	5,130	260,975	0	0	224,789	36,186	正規	0.80	ｱﾙﾊﾞｲﾄ	0.00																																
	03当初予算	257,038	5,940	262,978	0	0	225,038	37,940	再任用	0.00	その他	0.00																																
	03決算	255,842	5,940	261,782	0	0	224,786	36,996	任期付	0.00	合計	0.80																																
04当初予算	284,453	6,480	290,933	0	0	252,953	37,980																																					
令和3年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和4年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額																																					
	使用料及び賃借料	大蔵海岸民活施設用地借地料(固定資産税等相当額含む)	255,455		報償費	学識者等謝礼	100																																					
	積立金	大蔵海岸民活施設用地管理基金積立金	387		役務費	公正証書作成手数料	143																																					
					使用料及び賃借料	大蔵海岸民活施設用地借地料(固定資産税等相当額含む)	272,100																																					
					積立金	大蔵海岸民活施設用地管理基金積立金	12,110																																					
	合計		255,842		合計	284,453																																						



## 令和4年度 事務事業点検シート

整理番号	0107400000-010	事務事業名	大蔵海岸民活施設用地管理事業
------	----------------	-------	----------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			2年度	3年度	4年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	基金残高	賃貸収入からリース料を差し引いた余剰金を、大蔵海岸民活施設用地管理基金に積み立てる。事業者の継続的な出店により、にぎわいの創出と安定した積立てを行う。			52,039	52,426	64,536
		2052(R34)年度	千円	660,000			
<b>指標で表せない成果</b>							
当該事業の大きな課題であった企業債約82億円について、民間施設用地の条件付売却により資金調達を行い、全額償還するとともに、同用地の4賃貸事業者との間で月額賃料の引き上げを行うなど、将来にわたり一定の安定的な事業化の目途を立てた。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）				
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・リース期間は、35年もの長期にわたることから、社会経済情勢に適切に対応した安定的な事業運営を行う必要がある。</li> <li>・大蔵海岸地区における未活用地を活用した新規事業者誘致など、さらなる賑わいの創出及び歳入確保に向けた方策を検討していく。</li> </ul>					

# 令和4年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	インクルーシブ施策推進事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0107700000 - 001			
			分割/統合						
<b>関連予算科目</b>	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	総務費		事業所管課	政策局ジェンダー平等推進室				
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-6037					
	目	企画費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 27 年度			
	事業	インクルーシブ施策推進事業	根拠法令・要綱等						
<b>施策分野</b>	1 健康・福祉分野		実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
	1-3 障害者福祉の充実			委託		指定管理			
<b>個別計画</b>									

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	「すべての人が自分らしく生きられるインクルーシブなまちづくり条例」の施行(令和4年4月)を契機として、インクルーシブなまちづくりに係る市民への啓発や「インクルーシブアドバイザー制度」の利用促進のための取組を実施する。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
	制度の活用	インクルーシブアドバイザー制度の活用回数	令和4年度	回	4
啓発パンフレットの配布数	インクルーシブ条例の啓発パンフレットを市民、関係団体等へ配布した数	令和4年度	冊	10,000	
<b>事業内容</b>	(1)インクルーシブなまちづくりを進めるための理解促進に係る取組 ・子どもから大人まで誰にでもわかりやすい啓発パンフレットの配布 ・出前講座等による市民への啓発				
	(2)インクルーシブアドバイザー制度の実施 当事者目線に立った使いやすく効果的な施設改修、誰もが参加しやすいイベントの開催等において、検討の段階から複数の障害当事者等と一緒に現地視察や対話を行い、インクルーシブの根幹である当事者参画によるまちづくりを推進する。 【制度の活用件数】…令和4年度：4件(予定)				
	(3)バリアフリーに係る補助事業の実施 インクルーシブなまちづくりを様々な場所で推進することを目指し、商店街や小規模店舗を対象として、多様な当事者等と一緒にハード・ソフト両面からのバリアの改善に取り組む経費の一部を補助する(補助要件として(2)インクルーシブアドバイザー制度の活用を求める)。 【インクルーシブ商店街補助制度】 令和2年度:1件、令和3年度:0件、令和4年度:2件(予定) 【小規模店舗のバリアフリー化補助制度】 令和4年度:2件(予定)				

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
○		○	○	○			○		○	○					○	○

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和4年度 人員配置(人)					
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源						
02決算	469	21,870	22,339	351	0	0	21,988	正規	0.70	アルバイト	0.00		
03当初予算	2,141	25,515	27,656	0	0	0	27,656		再任用		0.00	その他	0.00
03決算	1,222	25,515	26,737	0	0	100	26,637		任期付		0.00	合計	0.70
04当初予算	4,150	5,670	9,820	0	0	0	9,820						

令和3年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和4年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	条例検討会等謝礼	333		報償費	アドバイザー謝礼	440
旅費	条例検討会委員旅費等	0	旅費	アドバイザー旅費等	70		
需用費	消耗品費等(きんもくせいプロジェクト含む)、食糧費	389	需用費	印刷製本費、事務用品等、お茶代	510		
委託料	印刷物作成委託料	500	委託料	印刷物作成委託料	1,100		
使用料及び賃借料	会場使用料	0	使用料及び賃借料	意見交換会会場使用料	30		
負担金補助及び交付金	商店街インクルーシブ補助	0	負担金補助及び交付金	商店街、小規模店舗のバリアフリー化補助	2,000		
<b>合計</b>			1,222	<b>合計</b>			4,150

# 令和4年度 事務事業点検シート

整理番号	0107700000-001	事務事業名	インクルーシブ施策推進事業
------	----------------	-------	---------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			2年度	3年度	4年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	制度の活用	インクルーシブアドバイザー制度の活用回数			0	0	4
		令和4年度	回	4			
	啓発パンフレットの配布数	インクルーシブ条例の啓発パンフレットを市民、関係団体等へ配布した数			0	0	10,000
		令和4年度	冊	10,000			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>(1)パンフレット配布・出前講座等による周知啓発          こどもから高齢者まで幅広い層にインクルーシブについての理解を深めてもらえるよう、マンガを活用したわかりやすいパンフレットを配布するとともに、出前講座などで周知啓発を進めていく。</p> <p>(2)インクルーシブアドバイザー制度の実施          障害者をはじめとする多様な当事者や支援者、専門家との意見交換の場をコーディネートし、地域の活動団体や事業者の取組みを支援していく。また、商店街やホテルのバリアフリー補助事業について、補助要件としてインクルーシブアドバイザー制度の活用を義務付け、当事者とのコミュニケーション機会を確保し、実効性のあるバリアフリー事例を積み重ね、当事者の声による気づき・改善プロセスの定着を図っていく。</p>						

# 令和4年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	LGBTQ+ / SOGIE施策推進事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0107700000 - 002			
		<b>分割/統合</b>						
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>					
	<b>款</b>	総務費		<b>事業所管課</b>	政策局ジェンダー平等推進室			
	<b>項</b>	総務管理費			<b>連絡先</b>	(078)918-6056		
	<b>目</b>	企画費		<b>自治/法定</b>		自治事務	<b>開始年度</b>	令和 2 年度
	<b>事業</b>	LGBTQ+ / SOGIE施策推進事業						
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野		<b>根拠法令・要綱等</b>					
	4-4 人権の尊重・共生社会の推進			<b>実施方法</b>	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>
<b>個別計画</b>			<b>委託</b>		<input type="checkbox"/>	<b>指定管理</b>	<input type="checkbox"/>	

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	SOGIE（性的指向や性自認、どのような性表現をするのか）に関する理解を促進し、SOGIEに関わらず市民が自分自身を大切にし、自分らしく生き、互いを認め合える「ありのままがあたりまえのまち」の実現を目指し、LGBTQ+/SOGIE施策を推進する。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
研修・出前講座の実施回数	小中学校、コミセン、市内事業者等と連携した研修・セミナーの実施回数	令和4年度	回	40	
関係機関会議の開催回数	LGBTQ+/SOGIE施策に関する検討会議（アドバイザー会議・ネットワーク会議）の開催回数	令和4年度	回	4	
<b>事業内容</b>	(1) 研修・啓発事業の充実 SOGIEに関する理解促進のため、各学校・企業・地域団体等において研修や啓発事業等を行う。 ・教職員研修、出前講座の実施、研修開催費用の助成（令和2年度：22回 令和3年度：61回 令和4年度：40回（見込み）） ・啓発イベント、キャンペーンの実施（令和2年度：1月～2月・令和3年度：11月～12月にキャンペーン実施 令和4年度：時期未定） ・市民向け啓発事業「ソジモ」制度の運用 ・事業者に向けた啓発の推進、登録制度の創設（令和4年度新規） ・明石にじいる基金の運用				
	(2) 相談支援事業の実施 LGBTQ+当事者や家族、学校、事業所など様々な方からの相談に対応する専門相談窓口による相談支援を行う。 ・専門相談窓口「明石にじいる相談」への相談実績（令和2年度：104件 令和3年度：168件）				
	(3) 関係機関との連携 LGBTQ+当事者のニーズに即した効果的な取組を行うため、関係機関と施策の検討とその実施方法等について協議を行う。 ・施策アドバイザー会議（活動団体の代表・有識者等）（令和2年度：2回開催、令和3年度：1回開催、令和4年度：2回開催（予定）） ・ネットワーク会議（市内の地域・医療・商工業者等）（令和2年度：4回開催、令和3年度：1回開催、令和4年度：2回開催（予定））				
	(4) パートナーシップ・ファミリーシップ制度（届出件数：令和2年度 13件、令和3年度 5件） 人生のパートナーや大切な人と「家族」として安心して暮らせるよう、その関係を公に証明する同制度を令和3年1月に施行。				

SDGs（17の目標）																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
○		○	○	○			○		○	○					○	○

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和4年度 人員配置（人）					
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源						
02決算	0	0	0	0	0	0	0			正規	4.50	アルバイト	0.00
03当初予算	6,939	32,805	39,744	0	0	1,000	38,744			再任用	0.00	その他	0.00
03決算	4,754	32,805	37,559	1,122	0	100	36,337			任期付	0.00	合計	4.50
04当初予算	6,798	36,450	43,248	0	0	400	42,848						

令和3年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	令和4年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	報償費	研修・講演会謝礼、関係機関会議委員謝礼	832		報償費	研修・講演会謝礼、関係機関会議委員謝礼	1,300
需用費	消耗品費、印刷製本費、食糧費	1,000	需用費	消耗品費、印刷製本費、食糧費	2,165		
委託料	PR掲示物設置等業務委託、啓発動画作成業務委託	1,837	委託料	フォーラム開催委託、啓発キャンペーン委託	1,900		
扶助費	公正証書作成費用助成	0	扶助費	公正証書作成費用助成	400		
積立金	あかしにじいる基金積立金	1,000	積立金	あかしにじいる基金積立金	250		
その他	旅費、会場使用料、研修参加負担金等	85	その他	旅費、会場使用料、研修参加負担金等	783		
<b>合計</b>			4,754	<b>合計</b>			6,798

# 令和4年度 事務事業点検シート

整理番号	0107700000-002	事務事業名	LGBTQ+/SOGIE施策推進事業
------	----------------	-------	--------------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			2年度	3年度	4年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	研修・出前講座の実施回数	小中学校、コミセン、市内事業者等と連携した研修・セミナーの実施回数			22	61	40
		令和4年度	回	40			
	関係機関会議の開催回数	LGBTQ+/SOGIE施策に関する検討会議(アドバイザー会議・ネットワーク会議)の開催回数			6	2	4
		令和4年度	回	4			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>〈ひょうご地域創生交付金活用事業〉</p> <p>令和3年度は、相談件数、出前講座実施回数ともに増加し、施策に関して当事者及び教育機関をはじめとした公的機関や人権関係団体においては一定の認知を得たと考える。</p> <p>今後は、当事者の困りごとの解決に繋げ、かつ「知識はあるが課題認識がない層」に課題の共有を図ることを目的として、企業向け登録制度の創設・パートナーシップ制度の更なる周知に取り組むとともに、引き続き、当事者に寄り添った相談業務、まちづくりの一環としての啓発キャンペーン等、各対象に向けた事業の充実に努める。</p>						

# 令和4年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	ジェンダー平等推進事業	<b>新規/継続</b>	新規事業	<b>整理番号</b>	0107700000 - 003	
		<b>分割/統合</b>				
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>	<b>事業所管課</b>	政策局ジェンダー平等推進室	
	<b>款</b>	総務費			<b>連絡先</b>	(078)918-6037
	<b>項</b>	総務管理費	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	令和 4 年度
	<b>目</b>	企画費	<b>根拠法令・要綱等</b>			
	<b>事業</b>	ジェンダー平等推進事業		<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理	
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野 4-4 人権の尊重・共生社会の推進					
<b>個別計画</b>						

**目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）**  
 性別などに関わりなく個性や能力を発揮し、誰もがいきいきと活躍できる社会を目指し、「防災」「教育」「家庭・社会」「職場」「意思決定過程」の5つのテーマにおいてジェンダー平等の実現に向けた取組を進める。

成果指標					
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値	
ジェンダー教育推進校の数	子ども、保護者及び教職員向けのジェンダー教育(研修)及び教職員の働き方改革に取り組む学校の数	令和4年度	校	6	
家事・育児セミナー等の参加人数	男性向け家事・育児参画促進イベントなど家事・育児セミナー等に参加した市民の人数	令和4年度	人	250	

- 事業内容**
- (1) 防災(総合安全対策室と連携)
    - ・女性等へのニーズに迅速に対応できる災害対応に役立つ情報システムの開発及び導入(明石高専との共同事業)
    - ・女性を含めた多様な視点での防災備蓄品の拡充(例:避難所の生理用品、乳幼児関連用品)
    - ・ジェンダーと防災に係る専門委員会議の開催(令和3年度2回、令和4年度2回)
  - (2) 教育
    - ジェンダー教育推進校の指定
    - ・子ども、保護者及び教職員向けのジェンダー教育(研修)の実施
    - ・教育現場における働き方改革の推進サポートの実施
  - (3) 家庭・社会
    - ・官民連携による家事・育児セミナー等の実施(例:男性の家事・育児参画促進イベント、企業連携型の夫婦家事セミナーなど)
    - ・誰でも利用しやすい施設整備に向けたニーズ調査及び対応の検討(トイレの手洗い場への子ども用の踏み台設置など)
  - (4) 職場
    - ・明石市「育休100%」宣言達成に向けた取組の推進
    - ・市役所での多様な働き方の推進
  - (5) 意思決定過程
    - ・明石市ジェンダー平等の実現に関する検討会の開催(令和3年度2回、令和4年度2回)
    - ・様々なフィールドで活躍できる女性を育成するためのセミナーの開催(令和4年度:全2回開催予定)

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
○		○	○	○			○		○	○					○	○

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和4年度 人員配置(人)									
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源										
02決算	0	0	0	0	0	0	0										
03当初予算	0	0	0	0	0	0	0							正規	3.70	アルバイト	0.00
03決算	0	0	0	0	0	0	0							再任用	0.00	その他	0.00
04当初予算	12,600	29,970	42,570	0	0	0	42,570							任期付	0.00	合計	3.70

区分(節)	内容	金額	令和4年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
				報償費	ジェンダー教育推進校への学校支援員等報償、研修講師謝礼等	5,150
				旅費	委員旅費、研修講師旅費、近接地旅費等	500
				需用費	事務用品費、防災備蓄品等	2,130
				委託料	防災システム開発・導入費、ジェンダー平等講座運営委託費等	3,600
				負担金補助及び交付金	まち協の防災資格講座受講費	650
				その他	研修及びイベント会場使用料、委員報酬等	570
<b>合計</b>		0		<b>合計</b>		12,600



# 令和4年度 事務事業点検シート

整理番号	0107700000-003	事務事業名	ジェンダー平等推進事業
------	----------------	-------	-------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			2年度	3年度	4年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	ジェンダー教育推進校の数	子ども、保護者及び教職員向けのジェンダー教育(研修)及び教職員の働き方改革に取り組む学校の数			0	0	6
		令和4年度	校	6			
	家事・育児セミナー等の参加人数	男性向け家事・育児参画促進イベントなど家事・育児セミナー等に参加した市民の人数			0	0	250
		令和4年度	人	250			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>(防災) 災害対応に役立つ情報システムを開発し、次年度以降、当該システムが広く市民に活用されるよう、周知に向けた取組を行う。また、ジェンダー平等の観点から専門委員会議からの提言を受け、防災に関する取組の見直しを行う。</p> <p>(教育) 令和4年度に行った推進校におけるジェンダー教育(研修)及び教育現場における働き方改革の推進サポートについて、必要に応じて改善を加えながら次年度以降も継続していく。</p> <p>(家庭・社会) 男性向け育児・家事イベント等について、アンケート結果等を踏まえ、必要に応じて改善を加えながら次年度以降も継続していく。また、育児中の男性をはじめとする誰もが使いやすい施設整備についてニーズ調査等を実施し、その結果を受け対応を検討していく。</p> <p>(職場) 庁内での育休取得及び多様な働き方のための制度などについて十分に活用されていない状況を改善するため、職員への制度周知を継続していく。また、市内の中小企業において、誰もが継続して働くことができる支援策についてニーズ調査を実施し、今後の取組を検討していく。</p> <p>(意思決定過程) 市民等を対象とした女性リーダー育成セミナーを実施するなど女性の意思決定過程参画を推進するための取組を継続して行う。</p>						



# 令和4年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	生理用品サポート(きんもくせいプロジェクト)事業		<b>新規/継続</b>	新規事業	<b>整理番号</b>	0107700000 - 004			
			<b>分割/統合</b>						
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>						
	<b>款</b>	総務費		<b>事業所管課</b>	政策局ジェンダー平等推進室				
	<b>項</b>	総務管理費	<b>連絡先</b>	(078)918-6037					
	<b>目</b>	企画費	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	令和 4 年度			
	<b>事業</b>	生理用品サポート(きんもくせいプロジェクト)事業	<b>根拠法令・要綱等</b>						
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野		<b>実施方法</b>	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>
	4-4 人権の尊重・共生社会の推進			委託	<input type="checkbox"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>個別計画</b>									

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的 (誰を・何を、どういう状態にしたいのか)</b>				
	様々な事情により生理用品を入手できない「生理の貧困」に係る問題に対応するため、学校や市内施設等にて生理用品の配付・配備を行い、この取組をきっかけにして、困りごとを抱える市民の相談に対応し、適切な支援を届ける。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
	生理用品の配付(配備)数	学校や市内施設等での生理用品配付(配備)数の合計	令和4年度	個	100,000
生理用品の配付に際する相談件数	市内施設等で生理用品を配付する際にあわせて行う困りごとなどの相談件数	令和4年度	件	100	
<b>事業内容</b>	市内の学校や若者・女性が立ち寄りやすい施設等において生理用品の配付(配備)を行う。				
	(1) 配付(配備)場所 市立の全小中・養護学校、明石商業高校、きんもくせい相談窓口、男女共同参画センター、AKASHIユーススペース、こども食堂など				
	(2) 配付(配備)方法 ①学校 児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、女子トイレの個室などに生理用品を配備する。 ②学校以外 窓口での生理用品の配付を切り口として、様々な困りごと相談に応じ、適切な支援につなげる。				
	(3) 配付(配備)予定数量 学校での配付(配備) 80,000枚 + 相談窓口等での配付 20,000枚 ≒ 100,000枚				
	(参考)令和3年度の実績 ①(モデル事業)学校トイレへの配備 明石商業高校：[期間]R3.7.1～R3.12.31 [配備数]1,431個 高丘中学校・高丘東小学校・高丘西小学校：[期間]R3.10.4～R3.12.31 [配備数]853個 ②相談窓口等での配付 あかし男女共同参画センターほか5窓口：[期間]R3.4.1～R4.3.31 [配付数]688パック(約14,000個) [相談件数]74件				

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
○		○	○	○												○

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和4年度 人員配置(人)											
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				正規	アルバイト	その他						
02決算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03当初予算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03決算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
04当初予算	5,000	8,910	13,910	0	0	0	0	13,910	0	0	0	13,910	0	0	0	0	0	0	0

<b>令和3年度決算事業費明細</b>	区分(節)	内容	金額	<b>令和4年度当初予算事業費明細</b>	区分(節)	内容	金額	
						需用費	生理用品購入費、周知カード等印刷費	5,000
		<b>合計</b>			0		<b>合計</b>	5,000

# 令和4年度 事務事業点検シート

整理番号	0107700000-004	事務事業名	生理用品サポート(きんもくせいプロジェクト)事業
------	----------------	-------	--------------------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			2年度	3年度	4年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	生理用品の配付(配備)数	学校や市内施設等での生理用品配付(配備)数の合計			0	0	100,000
		令和4年度	個	100,000			
	生理用品の配付に際する相談件数	市内施設等で生理用品を配付する際にあわせて行う困りごとなどの相談件数			0	0	100
		令和4年度	件	100			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>(生理用品の配付による相談支援) 市立の全小中学校、養護学校及び明石商業高校の保健室や市内施設における生理用品の配付をきっかけとした相談支援の取組を継続して行う。現在、配付できる施設が市内東部に偏っていることもあり、今後、取り扱い窓口を増やすための検討を進めていく。</p> <p>(学校女子トイレへの生理用品の配備) 令和4年度より、市立の全小中学校、養護学校、明石商業高校の女子トイレに生理用品を配備する取組を開始し、児童生徒が安心して学校生活を送ることができる環境整備を行っている。しかしながら、設置箇所等については各学校の事情もあり、足並みが揃っていないと難しい面もある。今後も、各学校の事情にも十分に配慮しながら丁寧な調整を続け、教員の理解を得ながら取組を進めていく。</p>						